



# 関西学院 後援会通信

わが子と共に育み、共に歩む MASTERY FOR SERVICE

2021 | 61  
AUTUMN

はじめませんか、  
親と子と関学の絆づくり。





# MASTERY FOR SERVICE

61  
AUTUMN  
2021

## Contents

- 03 理事長・後援会会長からのメッセージ
- 05 The Spirit of KWANSEI
- 09 Welcome to K.G. Campus!
- 11 We Are KWANSEI!
- 17 私もK.G.です IN THE COMPANY
- 21 就職活動の「今」
- 25 コロナ禍でのK.G.流 国際教育
- 27 数字で見る関学の国際教育
- 29 新月祭
- 31 ホームカミングデー
- 35 CLOSE UP RESEARCH
- 39 後援会報告
- 45 後援会Information
- 47 プレゼントのご案内  
関西学院会館のご案内



# 理事長・後援会会長からのメッセージ

昨年12月に急逝された平松理事長の後を受けて4月に理事長に就任し、早3か月が経過いたしました。改めまして関西学院に在籍している学生、生徒、児童の保護者の皆様にご挨拶申し上げます。皆様におかれましては日ごろから関西学院の教育にご理解いただき、物心両面にわたるご後援をいただいておりますことに遅れ馳せながら心から感謝し、御礼申し上げます。

私は今、就任時の挨拶を改めて思い起こしております。それは言わずもがなのことではありますが、関西学院がキリスト教によって設立された「学校」であり、そしてその「学校」であるが故に関西学院はここに学ぶ全ての学生、生徒、児童、園児にキリスト教主義の教育による質の保証をするべく最大限の努力をする義務を負っているということでもあります。

さらにこの質の保証の一丁目一番地に位置し、その最前線に立っているのが教員であり、教員の皆さんがその力を十二分に発揮できるように環境を整え、バックアップする責務を負っているのが職員です。その上でこの機能分担が滞りなくスムーズに働いているかを確認し、その中で変化極まりない現在の世界において関西学院の進むべき方向を示すのが、私ども学校経営に携わる理事の役目であると考えております。私は今後もこの当たり前のことにいつも思いを致し、特に関西学院がキリスト教に基づいて創立された学校であるという関西学院の原点に常に立ち返っていきたくと考えております。

私もこの関西学院に中学部から大学まで10年間学び、育てられた者です。中学部入学後初めて接したキリスト教、受験勉強のない学校での、成長段階に応じて与えられた特色ある教育を体験してまいりました。だからこそ、この関西学院の目指している教育が、うわべだけの綿あめのような捉えどころのないものでは決していないことを知っています。まただからこそ、その第一線に対応している教員の皆さんの大きな素晴らしさ、しかしそれ故に大変な働きも知っています。この大きな働きを担われ、期待される役割であるからこそ、それぞれの学校における教員の現代にふさわしいあり方についても常に見直しを続けることが必要であると考えています。

また、これら教員の働きを支える職員の働き方やその組織のあり方についてもその時代に合致したものでなければ職員の皆さんの力を十分に引き出すことは困難でしょう。

時代にふさわしい体制が整えられ、ここで学ぶ者の質の保証が図られてはじめて後援会の皆様や23万人を数える同窓生から信頼される関西学院になることができると確信しております。そのために必要なリスクは積極的にとると共に、逆にMastery for Serviceで示されるキリスト教主義教育を堅持してまいります。後援会の皆様の変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。



関西学院 理事長  
村上 一平  
Murakami Ippei

日頃は関西学院後援会の諸活動に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。関西学院後援会は「関西学院の教育目的達成のための後援」を目的に設置された団体で、関西学院に集う初等部から大学までの児童・生徒・学生約27,000名の保護者の皆さまによって運営されています。

昨年度はコロナ禍により子供達の学校生活も一変し、仲間としばらく会えずに自宅で過ごす日々や、これまで当たり前を受けていた授業も様々な制限がある中で行われる日々が続きました。友達と戯れ合う児童の姿や大声で笑う生徒たちの輪、食堂で楽しそうに談笑しながら食事をする学生たちなど、少し前まで周囲との距離など全く意識せずにできた何気ない行動が、今や何か特別な事のように思えてしまいます。いわゆるソーシャルディスタンスという周囲との距離が、そのまま子供達にとっての「心のキヨリ」にならないことを願うばかりです。

関西学院後援会は「わが子と共に育み、共に歩むMastery for Service」を目指す姿(ビジョン)に掲げており、関西学院のミッションステートメント解説の中には「スクールモットーである“Mastery for Service”は、他者への関心と思いやりに支えられた時に、はじめて十全の意味を持つ」と書かれています。

我々大人から見て日々成長していく子供達の姿が、時にたくましく映ることもあります。コロナ禍による新しい日常の中で、子供達との「心のキヨリ」が、お互いに生じないように、まずは我々保護者が子供達に関心と思いやりを持って支えていければと思います。

コロナ禍は現在もなお続いていますが、今後は状況の変化を見極めつつ昨年度好評だった「食の支援」や保護者交流会のオンライン開催など新しい取り組みも合わせて、実行可能なことから後援会としての活動を行なって参りたいと思います。

今こそ「親と子と関学の絆づくり」を、より多く・より深く行なっていけるよう、今年度も会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

むすびに関西学院に関わる全ての皆さまとご家族のご健勝を心よりお祈りいたします。



後援会会長  
那須 善行  
Nasu Yoshiyuki



# The Spirit of KWANSEI

## 卒業生インタビュー

各界で活躍する関西学院の卒業生たち。  
その根底に流れる「関学スピリット」を  
インタビューから紐解きます。

怪我を乗り越え、  
さらなる高みを目指す  
関西学院大学初の力士。

2011年に関西学院大学に進学し相撲部に所属、2015年から大相撲の力士となった宇良和輝さん。在学時は、2011年に全国学生相撲個人体重別選手権65kg未満で優勝、2013年には第2回世界コンバットゲームスの相撲・軽量級で金メダルを獲得するなど好成績を収めています。しかし宇良さんの相撲人生は決して楽な道のりではありませんでした。小柄な体格に悩み、レスリングへ転向した中学時代。相撲を始めて3か月の相手に敗北し屈辱を味わった大学時代。そして、2017年には右膝の大怪我を負ったことが原因で幕下へ降格。様々な壁にぶつかりながらも、周りの支えを受けながら努力し続け、2021年の7月場所ですいに幕内復帰を果たします。今回は、たくさんの困難を乗り越え今もお力士として躍進を続ける宇良さんに、関西学院大学在学中の思い出や力士としての想いをお聞きました。

# 宇良和輝

Ura Kazuki

## profile

2011年に関西学院大学教育学部へ進学。卒業後、2015年に長年の夢でもあった大相撲入りを果たす。その後右膝に大怪我を負い一時は序二段へ降格するも、2021年に幕内復帰。これからの活躍がますます期待されている。



# The Spirit of KWANSEI

偶然の出会いをきっかけに  
始まった相撲人生

## — 相撲を始めたきっかけを教えてください。

相撲に初めて触れたのは4歳の時です。姉がわんぱく相撲の試合に参加することになり、姉を応援していた僕も出場の機会をいただきました。その際土俵に上着を忘れてしまい後日取りに行ったのですが、相撲を習いに来た子どもだと勘違いされてしまって(笑)。当時4歳だった僕は訳も分からないまま、気づいたらまわしを締めて稽古に参加していました。毎日の稽古はとても厳しい一方で、体が小さい僕は試合で負けてばかりでした。思うようにいかない状況に苦しみ、中学生の時には一度、体重別で試合が有小柄な自分でもチャンスがあるレスリングへ転向しました。しかし結局レスリングでも思うように結果を残すことができず、これからどうしようかと悩んでいた時に母校である鳥羽高校の先生が「もう一回相撲をやってみないか」と声を掛けてくださったんです。もうこの道しかないかと相撲に戻り、再開してからは相撲一筋の生活を送っています。

## 関西学院大学相撲部との出会いが

「相撲の楽しさ」を知り、本気で取り組むきっかけに

## — 在学中は相撲部でご活躍されていましたね。小柄な体型をカバーするために行った工夫はありますか？

とにかくご飯をたくさん食べるよう心がけていましたね。実は僕は小食で、食べることがあまり得意ではないんです。大学1年生の時は、相撲部員で共同生活し、晩御飯を共に食べるだけであとは何も食べない生活を送っているともみる体重が落ちてしまい、入学当初85kgあった体重が1年生の7月には65kgになっていました。本格的に体づくりを始めたのは20歳頃からです。2年生の頃までは学業優先の大学生活を過ごしていたので、体重が落ちていることもあり気にしていませんでした。むしろ小柄な体格を生かそうと思い、1年生の時に全国学生相撲個人体重別選手権65kg未満級に出場し、優勝することができました。転機になったのは2年生で参加した西日本学生個人体重別選手権。65kg未満級で参加したのですが、相撲を初めて3か月の1年生に負けてしまったんです。初心者に負けるということは4歳から相撲を続けてきた僕にとってあまりにショックで、残りの1年半は相撲に全力を注ぎ決心をして肉体改造に取り組みました。この一連の出来事は、相撲人生の大きなターニングポイントだったと思います。現在は学生時代と比べ体重も増え体もかなり大きくなりましたが、周り比べるとまだまだ小柄です。また2017年の秋場所でも負った右膝の怪我もあるので、ハンデをカバーするためにできるだけパワーをつけようと今でもご飯をたくさん食べるように意識しています。食以外にも



## — 関西学院大学への進学を決めた理由を教えてください。

高校時代の相撲部の監督が、「小学校の教員に向いているのでは」と関西学院大学の教育学部を勧めてくださったことがきっかけです。体が小さく弱かった僕は高校生の稽古相手にもならず、土日には小学生を相手にしながら練習していました。先生は子どもと接している僕を見て、教育学部への進学を勧めてくださったのだと思います。高校卒業後は就職を考えていたのですが、せっかくチャンスをいただいたのに進学しないのはもったいないと考え、関学へ入学する決心をしました。4年間を振り返ってみると、本当に良い大学で学生生活を送れたと思います。1、2年生の時は学業に専念していたのですが、学びに関して不満を感じたことはありません。興味のある分野を自由に学びながら、教員免許まで取ることができて、関学を選んで正解でした。入学前は関学のことを全く知らなかったのですが、周りの先生方が「関西学院大学に入学するチャンスがあるなんてすごい」とざわついていたのが印象的だったのですが、今になって考えると先生方の反応に納得できますね。進学のをいただいたことは本当にありがたいことでした。

レーニングを毎日朝と昼の空いた時間にも行うようにして、少しでも筋力がつくような生活を心がけています。

## — 宇良さんにとって相撲部はどのようなところでしたか。

相撲部はとにかく自由で、部員の意志や自主性を尊重してくれる部活でした。僕が2年生まで学業に専念できたのも自由に行動できる雰囲気があったからだと思います。特に、小学校から高校まで厳しい稽古を続けてきた僕にとって、勝利というプレッシャーがない環境で取り組める相撲は非常に新鮮でした。夏休みの合宿の日にうっかり別の予定を入れてしまったときは監督にこっぴどく叱られました(笑)。相撲部の自由さは僕にとって「相撲の楽しさ」を知る良いきっかけになったと思います。相撲部に入らなければ、力士になることもなかったんじゃないかなと。当時関学を勧めてくださった先生や先輩には本当に感謝しかないですね。また相撲部は自主性が身に付く場所でもあります。部活をする中で何かを強制されることはなかったのですが、その分自分で考えて行動する必要がありました。試合に勝ちたいと思うなら、勝つためにすべきことをとにかく自分で考える。体づくりもまさに自主的に行ったことで、「たくさん食べる」「筋トレをする」などの目標は自ら立てて達成していききました。この自主性はプロとして稽古を重ねる今でも十分に役立っていると思います。

## 小柄な体格、右膝の大怪我 様々な困難の果てに至った力士としての想い

## — 2017年に負った右膝の怪我で、大変な苦労があったと思います。どのように乗り越えられましたか。

これまでで一番大きな怪我だったので、恐怖心はかなり強く、乗り越えるのは本当に大変でした。相撲を続ける上で怪我は付き物ですが、何年も土俵に上がってきた今でも全く慣れません。特に僕が所属している木瀬部屋の力士はエリート校出身の人たちばかりで、就職を意識して学生生活を過ごしていた僕とは見てきた世界が違います。常に「化け物と戦っている」「怪我をするかもしれない」という気持ちとの戦いですね。それでも恐怖を乗り越えられてきたのは、間違いなく周りの支えのおかげだと思います。怪我をして序二段に降格してしまったときも、いろいろな人が支えてくれたことが救いになりました。相撲に限らず一度落ちてしまうと周りから人が去ってしまうこともあると思いますが、自分の周りは優しい人たちばかりだったので幕内復帰まで諦めずに続けてこれたのだと感じています。

## — 相撲をする上での心構えを教えてください。

常に「取組では今の自分の100%を出し切る」という心構えで土俵に上がっています。関学時代、65kg未満級で1位になり、第2回ワールドコンバットゲームズ相撲軽量級では世界一になりました。貴重な経験ではありますが、大相撲の世界で通用するものではありません。学生時代とは全く別の世界なので、世界一を取ったからといって実績と見なされることはありません。僕の考えに対して「謙虚ですね」と言っていたこともありますが全くそのようなことはなくて、今でもまだまだ周りに圧倒されています。僕には身長や体重があるわけではないので、どんなに上を目指しても限界があり、横綱になれるかと聞かれても、考えることすらおこがましいことです。だからといって、体格を理由に諦めたくない。4歳からずっと相撲をしていて、僕にはこの道しかありませんから。今の僕にできるのは、持てる力を最大限発揮して、少しでも多く白星をあげることだけです。



## 関西学院大学の後輩へメッセージ

自由な環境で純粹に好きなことを楽しめる場を、ぜひ後輩の皆さんにも堪能してほしいです。教員免許を持っていることもあり、過去に一度だけ力士以外の人生について考えたことがあります。結局この道以外選べませんでした。ここまで相撲に打ち込められるようになったのは、関学の相撲部に出会えたおかげです。入学のきっかけは監督に勧めていただいたことでしたが、僕にとって関学への進学は相撲人生の大きなターニングポイントとなりました。きっと後輩の皆さんにも何か気づきを与えてくれる場所だと思うので、力みすぎず、自分のやりたいように学生生活を楽しんでください。

## My History

— 私の成長年表 —

- 0歳 ● 大阪府寝屋川市に生まれる。
- 4歳 ● 相撲を始め、寝屋川市相撲連盟へ通う。
- 12歳 ● 小学3年生の頃から相撲と並行しレスリングを開始。中学時代はレスリングに軸足を置いていた。全国2位まで上り詰めたが、鳥羽高校相撲部の監督の誘いを受け再び相撲の道へ。
- 15歳 ● 恩師の勧めで、相撲部のある京都府立鳥羽高等学校へ進学。
- 18歳 ● スポーツ選抜で関西学院大学教育学部に進学。1年生で全国学生相撲個人体重別選手権65kg未満級で優勝。
- 22歳 ● 4年生の時に全国学生相撲個人体重別選手権無差別級で3位入賞。また、ロシアで開催された第2回ワールドコンバットゲームズ相撲軽量級で世界一となる。
- 23歳 ● 大相撲の木瀬部屋へ入門。関西学院大学相撲部創部125年で初の力士となる。2015年3月場所にて初土俵を迎える。後の5月場所では7戦全勝で序ノ口優勝を果たした。
- 25歳 ● 3月場所にて、史上7位タイとなる初土俵から所要12場所での新入幕を決める。
- 26歳 ● 右膝前十字靭帯を損傷し9月場所を休場。翌年3月場所でも幕下に陥落する。
- 27歳 ● 9月場所でも土俵復帰。翌11月場所では7戦全勝で三段目優勝を果たす。
- 27歳 ● 1月場所でも、右膝前十字靭帯損傷。
- 28歳 ● 11月場所でも16場所ぶりとなる十両に再昇進を果たす。
- 29歳 ● 5月場所にて、2017年9月場所以来4年ぶりとなる幕内の取組を行い白星をあげる。7月場所では西前頭13枚目に昇格し、21場所ぶりの幕内復帰を果たした。西序二段106枚目からの幕内復帰は、戦後最も低い地位からの幕内復帰記録となる。

## PRESENT



宇良直直筆サインを  
3名様にごプレゼント!  
(詳しくはP.47へ)







つながり、ひろがる、  
関西学院。

関西学院の中にある  
様々なコミュニティ。

そこには、共通の想いや志で  
つながる絆があります。

# K.G. × 積極

所属学部を超え、幅広い分野での学びを可能とする関西学院大学独自の制度である複数分野専攻制(MS)。国連・外交プログラムなどの特別プログラムも実施しており、学びの領域は広がっている。

周囲の支えを  
原動力に、  
学びの機会を  
フル活用する  
大学生活。

職員

Hitokoto Kokoro

学生

Kusanagi Yuki

# We Are KWANSEI!

## 柔軟な発想力を養う、複数の学問領域での学び。

まず一言さんから、複数分野専攻制(MS)の概要について教えてください。

**一言** 他学部や学部以外の教育機関から提供された副専攻プログラムのもと、所属学部の枠を超えた領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を備えた学生を輩出することを目的として設置された関西学院大学独自の制度であり、ダブルチャレンジ制度\*の1つです。また特別プログラムとして、国連・外交プログラムも履修可能。さらにこのMSを利用して2つの学部を卒業できる、マルチプル・ディグリー制度(MD)もあります。

※所属学部や専攻の学び(ホームチャレンジ)に加えてもう1つの学び(アウェイチャレンジ)への挑戦を可能とする、全学生向けの関西学院大学独自の教育制度。アウェイチャレンジは「国際交流」「副専攻プログラム」(他学部での体系的な学び)、「ハンズオン・ラーニング・プログラム」(社会での実践型学習)の3つから構成されており、これらを通してグローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」「チャレンジ精神」を高めていく。

草薙さんがMSに参加しようと思ったきっかけを教えてください。

**草薙** 幼稚園の頃に住んでいた上海でブランド店が立ち並び中心街で同年代の子どもが物をいをしていた光景に衝撃を受け、幼い頃から貧困問題に対する問題意識を強く感じていました。高校時代に参加した模擬国連やWorld Scholar's Cupにおいて、自分には各国の課題解決に必要な交渉の細かいニュアンスを伝える英語力が不足していることも痛感し、MSへの挑戦を決めました。また現在のメンターである村田俊一先生との出会いも大きなきっかけの1つです。高次連携プログラムで村田先生の合宿に2年連続で参加しました。国連実務経験があるからこそリアルなお話に衝撃を受けるとともに、先生のもとでさらに深く学びたいと考えるようになりました。

MSで苦労したことや、それをどう乗り越えたか教えてください。

**草薙** 新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン授業へ移行した結果、授業内容を補うために課題が増え、パソコンでの作業も長時間化。学びが捗らないだけでなく、友人との討論の機会も減ってしまい、気が滅入ってしまいました。この問題を解消するために、国際学部の学生や、MS履修生にアンケートを実施。集まった対面授業再開の要望を事務室に伝え、解決に動いてもらえるよう働きかけました。職員や教員の方々が私たち学生の意見に真摯に対応してくださったおかげで、現在(7月時点)は一部対面での授業も実施されています。

**一言** 学生が意見を提示してくれたことは、学校側にとっても非常にありがたかったです。コロナ禍においてオンライン授業への移行が進む中、教員と学生のコミュニケーションを円滑にするために先生方へメールアドレス公開の働きかけを行うなど、様々な対策を講じてきました。このように、私たち職員はできるだけ学生の視点に立った対応をしたいと考えていますが、やはり学生の思い



草薙 柚季 Kusanagi Yuki

[関西学院大学 国際学部 国際学科 2年生]

関西学院千里国際中等部・高等部出身。MSの国連外交プログラムを履修している。メンターである村田俊一先生のもと、現在は大学院進学を視野に入れ勉学に励んでいる。



一言 ころろ Hitokoto Kokoro

[関西学院大学職員]

関西学院千里国際中等部・高等部出身。関西学院大学文学部・文学研究科修了。修士(心理学)。現在は国際学部事務室で留学・広報・大学院関連業務を担当している。

を正確に汲み取るのはなかなか困難です。手探りでの対応の中、学生のリアルな声は教育環境改善のための大きな材料となりました。たった1人の学生からの要望が学院全体にいい影響を与えることもあるので、学生の皆さんには積極的に事務室へ意見を届けてもらいたいです。

MSの履修を通して、どのような力が身についたと感じますか。

**草薙** 物事を1つの側面からではなく多角的にとらえる力が身につきました。例えば、ミンダナオ島の紛争には、汚職や資源の利権、多国籍企業の介入など権力に隠されている様々な要因が絡まり

合っていました。ケーススタディの中で、表面的な部分ばかり見るのではなく、その裏側をしっかりと精査したことによって、この事実気づくことができたと思います。またMSでは国際学部以外の学生とも交流できるため、他学部の学生の視点も刺激になります。SDGsについてディスカッションをした際、教育学部の人が実際の教育現場で性別によって推奨される科目が異なることなど、ジェンダーにまつわる問題点を指摘してくれました。このように、MSだからこそできる広い視野からのアプローチは、新たな気づきにつながります。

**一言** MSのねらいは、所属学部とは異なる学問領域を学ぶことで、翻って専門的な理解を深め

つつ、一方では専門性にとらわれない視点を養うことにあります。様々な問題が複雑化している現代社会において多角的に物事を見る力は非常に大切であり、草薙さんのようなMS履修生がその力を着実に身につけている姿は、職員としてとても嬉しく思います。



World Scholar's Cupで世界50か国から集まった大会参加者とのカルチャーフェアにて

\*\*\*\*\*

## どんな状況でも自由な学びを届ける、その強い意志が学生の支えに。

2つの学問領域を学ぶのはかなり大変な道のりだと思います。履修する中で、周りに支えられているという実感はありますか？

**草薙** はい。家族も友人も、様々なことに問題意識を強く持ち、さらにその解決に主体的に取り組める人たちがばかりです。例えば私の母親は疑問に感じることはとことん向き合うタイプで、物心ついた頃からわからないことは一緒に調べてくれました。また周りの友人は、自分で考えて行動を起こせる人が多く、MSを通じて得られる周りからの刺激は、私の大きな原動力の1つです。また、先生や職員の方々にも助けられています。オンライン授業での戸惑いのほか、私がMSや留学、大学院への進学など多くのことで悩んでいた時も、親身になって話を聞いてくれました。こちらの疑問や不安に対し、様々な選択肢や筋道を示していただける環境にいることは非常に心強いです。

**一言** 私たちもできるだけ学生をサポートできるよう、様々な情報提供を行っています。しかしながら、果たしてそれが本当に学生の役に立っているのか、目に見えづらいことがあります。草薙さんのように職員を頼っていただけると内容に応じた

適切な行動ができますし、同じ不安を抱えている他の学生への対応にも繋がります。学生が頼ってくれて初めて私たち職員の力が発揮されることもあるので、わからないことや不安なことがあれば遠慮せず事務室を活用してほしいです。

草薙さんの将来の夢や目標を教えてください。

**草薙** 大学院に進学し、学修分野の専門性を高めたいと考えています。将来は多様性が尊重され、ジェンダー平等が達成できるインクルーシブな政治と教育に取り組みたいと思っていますが、関わり方までは、まだはっきりしていません。またこれまでは海外でのキャリアに魅力を感じていましたが、子ども食堂を運営するNPO法人の活動に参加するなど、実践的な学びの中で、日本にも多くの課題が残っていることを実感しました。国内・国外双方でのキャリアを視野に入れ、その可能性を探るようになりました。秋からのカナダへの留学や大学院での学びを通じ、本当に自分がしたいことをじっくりと見極めていきたいです。

これからの関西学院大学で学校生活を送る学生に向けてメッセージをお願いします。

**草薙** MSの履修を通して、内向的だった私が主体的に学ぶ姿勢を身につけられました。現在は

新型コロナウイルス感染症の影響で海外渡航に制約が多い状況です。しかし、MSでは国連セミナーのオンライン開催や海外にいる著名な国連職員とのZoomでの双方向の授業など、コロナ禍をプラスに変えられるような充実したプログラムが展開されています。特に国連セミナーは本来ニューヨークの国連本部で行うものですが、オンラインになったことで時間や費用面では、非常に大きなメリットが生まれました。このような社会情勢の中でも、十分に学びの幅が広がるチャンスはあると思うので、興味があれば、積極的にMSも活用してみてください。

**一言** コロナ禍で私たちの生活は一変しました。今後も様々な制約が課されるかもしれません。しかし私たち職員は、こうした混乱の中だからこそ自分たちができることを考え、学びの機会の提供が滞ることのないよう日々試行錯誤しています。大学とはあらゆる立場にとらわれず、自由に物事を考えられる場所です。不安な時代ではありますが、ぜひ私たち職員を信頼していただき、異なる価値観・異文化への対話を恐れず、オープンマインドな心を育ててほしいと思います。



# K.G. × 創造

「創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会」へ9回連続進出するなど、活躍を続ける中学部。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全国大会は開催されなかったものの、大阪市大会において理科部チームが優勝を果たした。

自分たちの手でロボットを生み出す経験が、決まった正解のない問いに向き合う力になる。

教員

Ofuji  
Yasuo

中学生

Nagashima  
Kotaro

中学生

Okuyama  
Eita



## よりよいロボットの開発を目指して、仲間と試行錯誤する日々。

まず大藤先生から、理科部の主な活動内容について教えてください。

**大藤** 毎年11月に行われる文化祭で個人研究の成果を発表する場が設けられており、それに向けて部員それぞれが興味のある分野で研究を行っています。化学薬品や身近な物を使った科学実験、亀などの生き物の飼育・観察、ロボット工作やプログラミングなど、扱うテーマは様々です。また理科部では個人研究だけでなく、部員全員で実験をしたり、水族館や科学館でのフィールドワークに出かけたりするなど、グループでの活動も大切にしています。実験のテーマや文化祭での発表の内容は部員同士で話し合っているようにしており、自分たちがやりたいことに一丸となって取り組むことができます。

2012年に2年生の技術の授業に取り入れたことをきっかけに始まった、ロボットコンテストへの参加も理科部の活動の1つです。9回連続で全国

大会へ進出するなどの好成績を収めています。

長島さんと奥山さんが理科部に入学しようと思ったきっかけを教えてください。

**長島** ロボット好きの父の影響で昔から機械は好きだったのですが、小学校6年生の時に参加した関西学院中学部の文化祭で、理科部の先輩とロボットを用いて行ったアイスホッケーがとても楽しく、より興味を持つきっかけに、自分もこの部活に入ってロボットを作ってみようと思いました。  
**奥山** 僕も小学校6年生の時に参加した文化祭がきっかけです。理科はもともと好きでしたが、理科部でロボットが作れることを知り、入部を決めました。

おふたりは2020年度のロボットコンテストに出場されましたね。大会に臨まれる中で苦労したことや、それをどう乗り越えたかを教えてください。

**長島** ロボットを完成させることに苦労しました。

タイヤが回らない、アームが動かないなど、様々な不具合が発生。しかし僕のチームはメンバー全員が「絶対に大会に出場する」という目標を強く持っていたため、全員が諦めることなく一生懸命取り組み、無事に完成させることができました。また僕はロボットの操縦を担当しており、不具合の原因を突き止めたり、どうやったら良くなるかアイデアを出すなど、操縦士としての視点からチームに貢献することができたと思います。

**奥山** 自分で作ったロボットの部品が脆く、曲がったり壊れたりすると様々な不具合が起こり、それを何度も修正しながら改良を重ねていくのがとても大変でした。理科部の先輩方がアドバイスをくれたおかげで改良もスムーズに進み、無事大会へ出場することができました。

**大藤** ロボットコンテストのように、決まった正解のない問題に試行錯誤しながら粘り強く取り組む力は、多様化する現代社会において欠かせないものです。生徒たちはあらかじめ学校で用



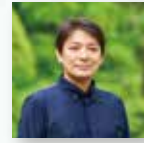
長島 孝太朗 Nagashima Kotaro  
[関西学院中学部 3年生]

2020年度の「創造アイデアロボットコンテスト大阪市大会」へ出場。2021年度は理科部部長を務め、全国大会出場を目指している。



奥山 瑛太 Okuyama Eita  
[関西学院中学部 3年生]

2020年度の「創造アイデアロボットコンテスト大阪市大会」へ出場。現在は全国大会出場を目指し、新たに自律制御式のロボット製作に取り組んでいる。



大藤 泰生 Ofuji Yasuo  
[関西学院中学部 教員]

システムエンジニアを経て中学校技術科の教員に。大阪市の公立中学校でロボットコンテストに取り組んできた経験を活かし、関西学院中学部でも授業や部活動を通じてロボット製作を指導。

意していた物以外に、家から持ってきた材料を使ってロボットを組み立てるなど、固定観念にとらわれずに創意工夫しています。例えば、長島くんはアームに取り付ける滑り止めに紙やすりを使ってみたり、奥山くんは本来工具として使う六角レンチをロボットの部品に組み込んでみたりと、私も驚くようなアイデアを出してくれます。

おふたりはロボットコンテストでの経験を通じて、どのような力が身についたと感じますか。

**長島** 粘り強く努力する力が身についたと思います。例えば、最近部活で難しいパズルに挑戦し、なかなか組み上がらなかった時も、最後まで諦めずに取り組み、2~3時間かけて完成させることができました。中学入学以前の自分なら、わからない問題があるとすぐに諦めてしまっていて、きっとこのパズルもすぐにやめていたと思います。ロボット

の改良を通して成功体験を積んだことで、できなくても簡単に諦めず努力する姿勢が身につきました。  
**奥山** 僕が身につけたのは想像力です。六角レンチを部品に組み込んだのもこの力のおかげだと思います。

ロボットを作る中で、「こうしたらもっと良くなるんじゃないか」といった検証を続けたことで、様々な視点で物事を考えられるようになりました。今挑戦しているプログラミングを利用した自律制御式ロボットの製作も、1つの考えにとらわれず柔軟な発想で取り組んでいきたいです。

現在は長島さんが部長となって、今年度の大会に向け取り組まれていると思います。部長はどのように選ばれましたか？

**長島** 理科部として2年間活動する中で、全体を



まとめる人、前に立って話をする人、作業が得意な人というように、それぞれの役割や得意な分野が見えてきました。その上で、部員全体で話し合い、僕が部長を務めることになりました。

**奥山** 長島くんは自分に与えられた作業をきちんとこなした上でみんなをまとめてくれる、とても頼りになる存在です。常に部員の見本となってくれる長島くんが部長を任せて正解だったと思います。

\*\*\*\*\*

## やりたいことに全力で打ち込める環境が、生徒の可能性を伸ばす。

将来の夢や目標を教えてください。

**長島** 機械の開発者になりたいです。特に、人間のように動く人型ロボットは近い将来きっと実現すると思うので、僕自身もその開発に携わることを目標にしています。そしてゆくゆくは、大好きなアニメや映画に出てくるカッコいいロボットや乗り物を実際で作ってみたいです。

**奥山** まずはロボットコンテスト全国大会出場を目指します。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で地区大会までしかなかったのが、その時の悔しさを晴らしたいです。そして将来は、電車に携わる仕事につきたいと思っています。昔から乗車すると必ず運転席を見に行くほど好きなので、大人になっても勉強で培った知識を活かして大好きな電車に関わってみたいです。

最後に先生から、関西学院で学校生活を送る生徒やその保護者の方に向けてメッセージをお願いします。

**大藤** 私が思う関西学院の魅力の1つに一貫教育が挙げられます。例えば、他の学校の子もたちが受験のための勉強に使う時間を、関西学院の生徒は自分が興味のあることに費やすことができます。実際、長島くんも奥山くんも現在中学3年生ですが、ロボットコンテストに集中して取り組むことができています。また、運動部はもちろん、理科部をはじめとする文化部も活発であり、様々なことに挑戦できる環境が整っているのも魅力の1つですね。こうした環境の中で、ぜひ自分のやりたいことに全力で取り組んでほしいです。





# K.G. × 自由

関西学院出身の父・雅彦さんと、関西学院初等部への入学から続く16年一貫教育の真っ只中にある娘の姿都さん。関西学院と共に歩んできた山本さん親子が紡ぐ物語。

関西学院の輝く自由と共に  
未来へ続く、親子の絆。

父

Yamamoto Masahiko



高校生

Yamamoto Sato



## 前に進めたのは、“挑戦する気持ち”を大切にしてくれる両親の愛情があったから。

姿都さんが関西学院に入学した経緯を教えてください。

**山本** 私自身が関学で充実した学びの日々を送ったことから、娘にもぜひここで学んでほしいという思いがありました。実は、私は一度関学受験を失敗しているのです。小学生の頃、深夜まで受験勉強をしている私を見ていた両親が、中学以降は受験に左右されず自分のペースで勉学に励めるよう、大学まで一貫で進める関学を薦めてくれたことから、関西学院中学部を受験することになりました。通っていた塾からは、100%合格のお墨付きをもらい、受験当日は関学を受験する児童を束ねる役に指名されました。しかし、慢心があったことから試験本番ではことごとく凡ミスを繰り返して、案の定不合格に(笑)。受かっていないことは百も承知でしたが、合格発表の掲示板に自分の受験番号がないのを目の当たりにしたとき、深夜まで頑張った記憶が蘇

り、大泣きました。3年後に高等部を受験し、やっと関学の一員になりました。娘には、ぜひ16年一貫教育を受けさせたく初等部からの入学を薦めた次第です。そして姿都の初等部受験日。なんと受験番号が、私の苦い思い出である中学部受験の番号と同じだったのです。かなり嫌な予感がしましたが、誰にも言えず…。合格発表の日には、発表時刻前に初等部の正門に張り付き、開門後ダッシュで合格者掲示のボードへ。無事合格を確認し、30年越しのリベンジを果たしたような気持ちに。しかし中学部受験の失敗という挫折は、僕の人生にとって非常に重要なことでした。あのまま合格していたらどんな人間に成長してしまっていたか…。天はあえて試験を与えたのだと思います。

初等部受験には壮大なドラマがあったんですね。姿都さんは入学後どのような経験を積まれましたか？

**姿都** 初等部の頃は、フィギュアスケーターの浅田真央さんに憧れて始めたクラシックバレエに打ち込んでいました。中学部に進学し、宝塚音楽学校を目指すことを決めてからは、バレエだけでなく声楽やダンスなど、ほぼ毎日習い事に通う生活に。残念ながら、宝塚音楽学校に進学することはできなかったのですが、現在は関西学院高等部で充実した日々を送っています。これまで両親にはお稽古への送り迎えや付き添いをはじめ、様々な場面で支えてもらいました。バレエのコンクールに落ちた時、定期テストで悪い点数を取った時、そして受験に失敗した時など、私が壁にぶつかった際には「もう無理だと思うなら好きにすればいい。でも、まだ頑張りたいと思えるなら、姿都の力になるよ。」とあえて厳しく接してくれたおかげで、甘えたり妥協したりすることなく、前に進めたのだと思います。



山本 姿都 Yamamoto Sato  
[関西学院高等部 3年生]

初等部から関西学院に通う。高等部ではアメリカンフットボール部のスタッフとして活躍。



山本 雅彦 Yamamoto Masahiko  
[保護者]

関西学院大学社会学部卒業生。勉学や部活動に励む娘・姿都さんの学院生活を応援。

高等部ではこれまでの人前に立つ華やかな活動から一変して、アメリカンフットボール部のスタッフを務められています。こういった経緯からでしょうか？

**姿都** 小学生の時、父とアメリカンフットボールの試合を観戦した際に、花形ポジションの選手の活躍に惹かれる一方で、そのプレーを支える裏方的なポジションの選手がいることに気づき



ました。決して目立つわけではありませんが、縁の下の力持ちがいるからこそ、チームは強くなるのだと感じたのです。これはバレエでも同じです。演者が舞台上に立っているのは、照明やメイク、衣装などのたくさんのスタッフがいるから。高等部で、これまでの経験が活かせるような部活動に入ることとも考えましたが、いわゆる裏方の役割に徹することで何か新しい発見があるのではないかと考え、アメリカンフットボール部への入部を決意。実



際に2年間活動して、自ら考えて行動する「自主性」を身につけることができたと感じます。スタッフは、プレーを撮影したりアイシング用の氷を作ったりといった基本的な仕事をこなすだけではなく、「こういうことをすればチームに役立つのではないか」と日々考えながら活動する必要があるからです。選手のように目立った成果をアピールする機会はありませんが、この経験から身についた力は、今後の人生において様々な場面で活かすことができると感じます。

**山本** アメリカンフットボール部の活動は、勉強と両立しながらとても熱心に頑張っています。家で私の手や足を使って、テーピングの練習をするほどです(笑)。親としては、華やかな舞台上で活躍する姿を見られない寂しさはありますが、人を支え、チームで切磋琢磨し、いい経験をさせてもらっていると感じます。

\*\*\*\*\*

## 自由が尊重される素晴らしい環境で、人としての成長を重ねていきたい。

おふたりを感じる、関西学院の魅力はどんなところですか？

**姿都** きちんとしたルールの中に、“自由”があることだと思います。高等部の文化祭では、幼少期から大好きな歌を披露させていただく機会がありました。部活動を抜けて歌の練習に行かなければならないこともあったのですが、顧問の先生や仲間たちは快く私の意思を尊重し、応援してくれました。本番のステージは大盛況となり、高校生活の素晴らしい思い出に。「やってみよう」と思ったことを発信すれば、実現のチャンスを与えてもらえる寛容さが、私を感じる一番の魅力です。

**山本** 私も在学中に関西学院の“自由”に触れる機会がありました。当時、高等部では運動総部の対抗試合がありませんでした。そこで学生会(生徒会)の仲間と相手校を模索し、関大一高に直談判。その年、見事関大戦を開催することができました。当時は自分たちの力で実現させられたことに喜んでいましたが、卒業後に当時の先生と話をする機会があり、実は陰からこの活動を支えてく

れていたことを知ったのです。このように、生徒がやりたいことを自由に挑戦させ、そっと後押ししてくださる先生方の存在ははとてありがたいものだったと感じます。

姿都さんの今後の目標について教えてください。

**姿都** 就きたい仕事など、具体的な将来のイメージはまだありません。まずはクリスマスボウルで優勝して日本一になるために、スタッフとしてチームに良い影響をもたらすことができたいと思います。そして大学では、部活動で培ったスポーツトレーナーとしての知識を活かしたいです。現在、大学生のトレーナーや整骨院の先生と練習で関わる機会が多く、とてもよい環境に身を置いているという実感があります。トレーナーという役割を設けている部活動は少ないので、そういった環境が整っていない団体でこの力を役立てられればと考えています。

**山本** 姿都にとって一生に一度しかない学生時代。大人になって振り返った時に、悔いの残らない時間だったと思えるよう過ごしてほしいと思っ

ています。この先も打ち込めるものを見出し、精一杯楽しんでもらいたいです。

山本さんと同じように、関西学院に通うお子様がいらっしゃる保護者の方へメッセージをお願いします。

**山本** 月は自らが光りを放ち輝いているのではありません。太陽により照らされ、その恩恵により輝く事ができるのです。そして、今はまだ三日月でも、必ず満月へと満ちて行く。人も同じです。決して自分は、自ら輝いているのではなく、他人から照らされ、その恩恵により、輝いて見える。まだ半人前だけ、様々なことを学院で吸収し、立派な人間へと成長して行く…。関西学院のシンボルである三日月はそんな教えを表してくれています。子どもたちには、それを理解した上で、ぜひ関学の“輝く自由”を謳歌してもらいたいです。学院の卒業生でない保護者の方々も、お子様が通われているのであれば、もう関学ファミリーの一員です。ぜひ学院にお越しになり、関学の“自由”を感じ、お子様と一緒にKGライフを楽しんでください。



防衛省の各部署で活躍する3人の関西学院大学卒業生。

仕事のお話や、現在も続いている

関学生とのつながりについてお聞きしました。

### 島村 万智子さん

法学部 2018年3月卒業

[地方協力局地域社会協力総括課]  
入省4年目

### 井上 航さん

法学部 2015年3月卒業

[地方協力局 在日米軍協力課]  
入省5年目

### 前田 実苗さん

国際学部 2020年3月卒業

[防衛政策局参事官付]  
入省1年目

私も **K.G.** です  
**IN THE COMPANY**

» 防衛省

“つながり”に  
支えられながら活躍する  
国防の  
エキスパートたち。

多様なバックグラウンドのもと

「国を守る」という

使命に向き合う。

**島村**:入省のきっかけは、ゼミの授業の一環で防衛大学の幹部候補生の皆さんと安全保障についてディスカッションをしたことです。彼らと議論する中で、私自身も傍観者ではなく当事者として、平和のために行動したいと思いました。また、説明会や面接で出会った職員の方々が魅力的だったことも理由の1つです。男女関係なく誰もが挑戦する姿勢で仕事をしている姿は非常に印象的でした。

**井上**:私は大学卒業後に参加した、防衛省九州防衛局の業務説明会が契機になりました。親の実家が佐世保にあり、親戚に自衛官が多かったことから、防衛省と聞くと自衛官のイメージを強く持っていました。しかし説明会で、自衛隊施設周辺の整備も防衛省の職務に含まれるなど、思っていたより幅広い仕事があることを知り、興味を持ちました。

**前田**:直接国の役に立てることをしたいという想いはありましたが、具体的にどんな仕事に就けばいいのか悩んでいた時に、防衛省の語学専門職を知りました。国際学部で学んできた語学力を活かすことができ、国を守るというやりがいを感じられる仕事は、今の自分にぴったりだと感じ、入省を決めました。

**島村**:防衛省職員を志望する理由は本当に人それぞれです。ニュースをきっかけに安全保障に興味を持った人、歴史が好きな人、基地の近くに住んでいて自衛隊を身近に感じていた人など、全国各地から様々な考えを持った人たちが集まっています。多様なバックグラウンドを持つ人が集まっているのは、防衛省の良いところの1つですね。



職種の壁を越えて

互いに協力しあえる職場。

**島村**：防衛省は、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つことを使命としており、防衛政策の立案、外国政府との交渉・協議、国際情勢の分析、防衛装備品の取得など、様々な部署が政策の企画・実施を担っています。私は入省後1年間、自衛隊の運用の制度的・法的な側面に責任を持つ部署で勤務しました。そして、現在は、安全保障政策と国民の皆さんをつなぐ地元調整担当として働いています。日本の防衛は、自衛隊や米軍の駐屯地基地の周辺の自治体や地域住民の方々の理解と協力があって初めて成り立つものです。例えば、自衛隊基地を整備する時。戦闘機訓練時の音の状況を知りたいといった地元住民の方の疑問にお答えするために、デモフライトを実施して実際に体感していただくなど、地域の理解を得られるように様々な取り組みを行っています。「地元」という現場に日々向き合い、安全保障を実現していく仕事に誇りを感じています。

**井上**：主に沖縄での米軍の訓練移転に伴う輸送役務監督や追加経費に係る事務を担当しています。地方防衛局や部隊の責任者の方々と連携し、訓練に必要な物資などを滞りなく届けられているか、把握しながら業務を行います。訓練の移転が実現し、地域住民の方々の負担の軽減と在日米軍の抑止力の維持を両立できたときには非常にやりがいを感じました。

**前田**：私が所属する国際安全保障政策室は、「拡大ASEAN国防相会議（ADMMプラス）」という、ASEAN全加盟国の国防大臣と域外8か国が参加する会議等の実施に向けた調整業務を担当しており、その中で相手国職員との調整、記録作成、翻訳業務等に携わっています。また、防衛省の仕事は様々な観点から安全保障政策や自衛隊の活動にアプローチするため、他課との連携が必須となり、若手の職員が他課との連絡調整係を担います。業務を両立することは大変ですが、円滑に進行した時は大きな達成感を得られますし、1年目ながら責任ある仕事を任せていただき、充実した

日々を過ごしています。

**島村**：前田さんがおっしゃったように、防衛省では若手の職員が他課との連絡調整係を担当し、自分の課だけではなく他課、他省庁との関わりの中で様々な仕事を覚えていきます。総合職、一般職、専門職それぞれが職種を越えて全員で協力しながら仕事を進めていくので横のつながりができますし、幅広い業務を体系的に知られる良い仕組みであると感じています。

**井上**：本当に様々な課と関わる機会がありますよね。私の仕事では前田さんのような語学専門職の方にサポートしていただくことが多いです。輸送業務に携わる中で在沖米軍の訓練移転に係る部隊の責任者の方と会議をするのですが、私は英語が苦手です（笑）。語学専門職の方の力をお借りすることで、仕事を円滑に進めることができている。



Memories of K.G.

Inoue Wataru

かつての仲間の活躍が奮起のきっかけをくれる。

**井上**：関西学院大学で得たつながりは、社会人となった今でも生きていて、例えば同じゼミだった友人とはよく連絡を取り合ったり、食事に行ったりしています。法学部の場合、地方公務員として地元に戻ってしまう人が多いのですが、中には国家公務員として東京で働いている仲間もいて、近い境遇の人とつながりがあるのはとても心強いです。

**前田**：私の場合、大学時代の友人の多くが東京で就職したので、1人暮らしが不安だった時もたくさん助けてもらいました。また、異なる業種の話聞くことはいい刺激になります。それぞれの道で頑張っている同級生の姿を見ると、私も負けていられないと感じますね。

**島村**：井上さんとは、関学の若手向け同窓会「Kwansei Gakuin Youth Reunion」で初めて知り合いました。同じ防衛省職員だと知ったときは驚きましたが、今では省内でランチをして、同窓生ならではの話に花を咲かせています。同じ職場で働く関学生とお話できることはとても嬉しいですね。

**井上**：島村さんとの出会いは本当に偶然でし



Maeda Minae

Memories of K.G.

Memories of K.G.



た。同窓生で国家公務員として働いている人自体が少ないので、職場に年の近い関学出身者がいることを知った時は驚きましたが、今ではとても親しみを感じています。

**前田**：やはり4年間同じ場所で過ごした仲間がいると安心感がありますよね。省外でも、同じ関学出身の先輩方が「心配事があったらいつでも相談に乗るよ」と声を掛けてくださったことがあって。関学ならではのつながりの深さを感じることが多いです。

**島村**：最近、大学に呼んでいただいて、学生の前でキャリアのお話をする機会がありました。こうした機会を通して、後輩の皆さんにも国家公務員や防衛省職員という道を知ってもらえたらいいなと思っています。私や井上さんのような法学部生だと、法曹界や地方公務員を目指す人が多いのですが、そこに新たな選択肢を生み出せたらいいですね。

関学ならではの自由な環境を活かして学生生活を充実したものに。

**島村**：後輩の皆さんには、とにかく様々なことにチャレンジしてもらいたいです。関学では学部にとわらず多様な授業やプログラムに参加できますし、縦・横のつながりが強いので、やりたいことや興味のあることを言えば、周りの友人や先輩、先生方がいつでもアドバイスをしてくれます。私は法学部に所属していましたが、様々な観点から歴史を学ぶため、神学部や国際学部の授業にも積極的に参加しました。また、大学を越えて興味のある研究をされている教授のもとを訪ねたことや、様々な大学から集まった学生が安全保障について議論するシンポジウ

ムに参加したこともありました。たくさんの挑戦をしたからこそできたつながりや経験は、国防という自分のやりたいことを見つけるきっかけになりました。自分は何が好きで、何のために頑張れるのかは、多くの経験を積んで初めてわかることだと思うので、ぜひ皆さんも興味があることに積極的に取り組んでみてください。

**井上**：現在の業務では、法律の趣旨や実際の現場に適用できるかどうかについて情報を集めて正確に判断しなければならぬ場面が多くあります。膨大な資料を集めて分析する時、法学部で培った知識や情報収集能力が活かされていると感じますね。大学で、社会で役立つ学びができるのはもちろん素晴らしいことですが、学生の皆さんには、勉学以外にもサークルや趣味といった打ち込めるものを見つけて4年間をさらに豊かにしてもらいたいです。私は学生時代、勉学にのめり込んでしまったのですが、もう少し広い視野を持って過ごせばよかったと感じることがあります。4年間はあっという間に過ぎてしまいますので、ぜひ様々な出会いやきっかけを大切にしてほしいです。

**前田**：関学には、留学、ボランティア、インターシップなどの多様なプログラムが用意されており、自分の興味・関心のある分野を深く追求することができます。学生の皆さんには、このような関学の環境を活かして、やりたいことに勇氣をもって挑戦してもらいたいです。今は新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか思うように行動に移せないことが多いでしょう。しかし、苦難を乗り越えた先を見据えて行動すれば、それは必ず自分の力となります。どんどんチャンスを利用して、学生生活を充実したものにしてください。



Shimamura Machiko





# 就職活動の「今」

## 就職活動のスケジュール

### 政府の指針

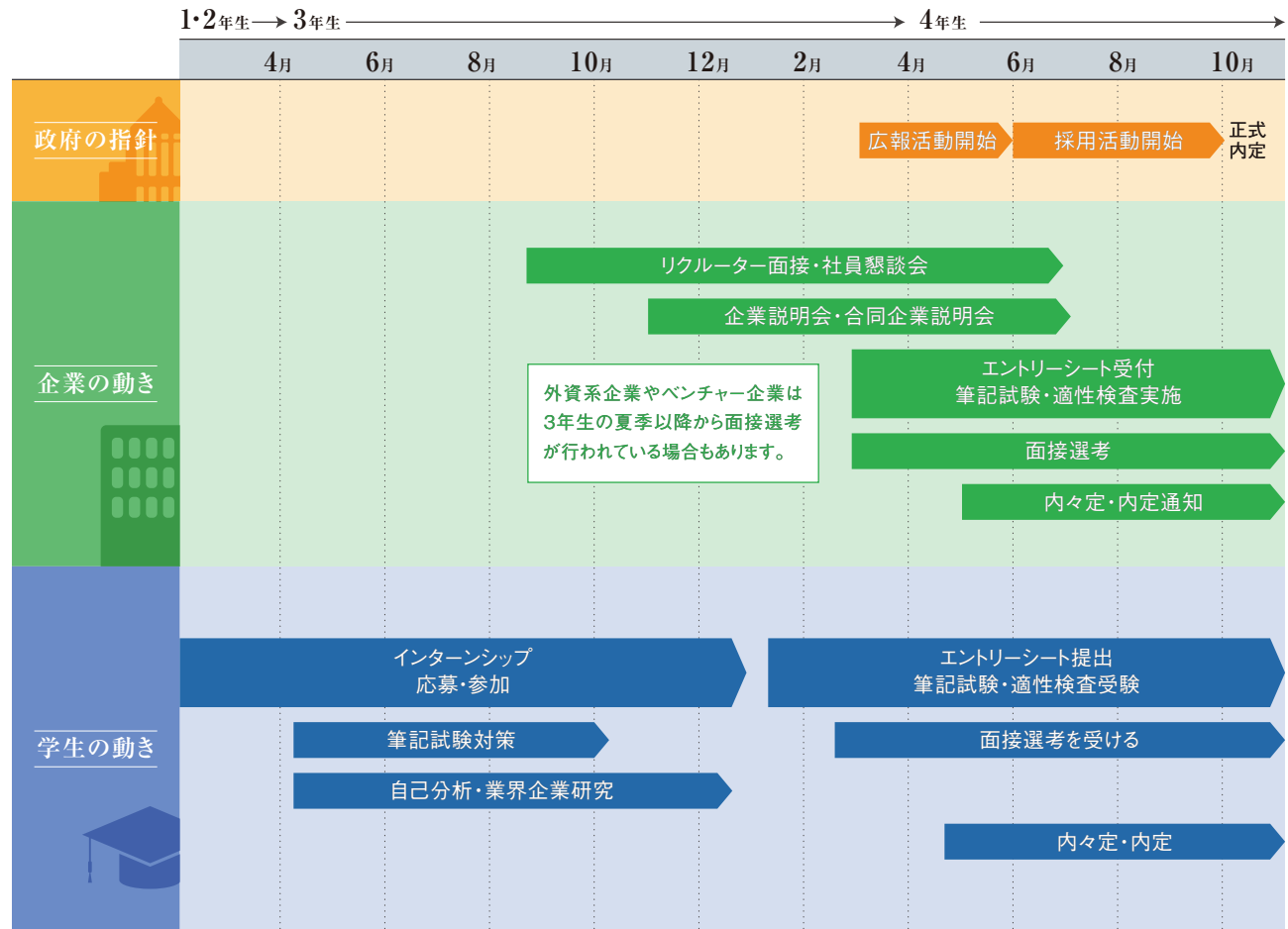
- 3年生の3月から広報活動開始 / 4年生の6月から採用選考活動開始

### 実態

- 3年生の夏ごろからインターンシップに参加(そのまま選考・内々定 / 内定するケースも存在)
- 3年生の秋ごろから説明会(企業によっては年内から随時選考開始)

全ての企業が政府の指針に沿った採用活動をしている訳ではなく、各社の選考が多様化・複雑化しているため、対応に困らないよう、早めの準備が必要となります。筆記試験対策や書類選考対策、また面接対策など、就職活動の本番に備えることも大事ですが、その前段階の「自己分析」や「業界・企業研究」が極めて重要です。自己分析も業界・企業研究も、ガイダンスやセミナーを実施しており、動画視聴が可能です。(p23「KGキャリアチャンネル」参照)

次のページでもお伝えしますが、選考の多様化・複雑化の流れの中で、インターンシップの重要性が増えています。最近では、インターンシップに参加する低年次の学生も増えています。現場での体験を通して仕事内容を把握したり、さまざまな分野で働く社会人の方とのコミュニケーションを図る経験が、今後の学生生活や就職活動の充実度にも大きく関わってきます。



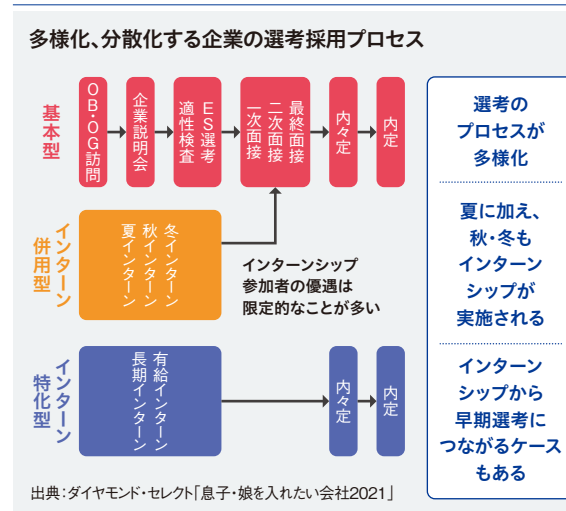
コロナ禍で変わる就職活動の「今」と、関西学院のキャリア支援についてご紹介します。



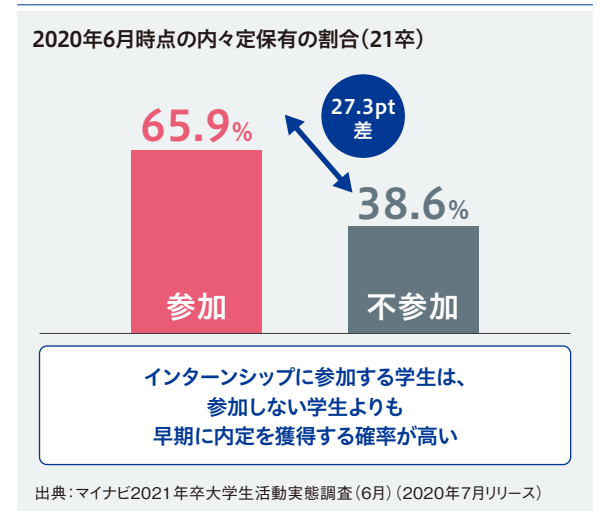
## インターンシップの重要性

採用フローが複雑化する中で、インターンシップの重要性が増している傾向にあります。下図にある通り、インターンシップを経由した選考ルートを経験している企業も増加しています。インターンシップに参加しないと内定を得られないわけではありませんが、相関関係があることは統計にも出ています。オンライン化により、居住地を問わず参加しやすくなっているため、参加の有無を志望度の指標とする企業もあります。インターンシップを通して得た経験を、業界・企業・職種の理解や自己分析につなげることも可能です。興味のある企業が実施するインターンシップには積極的に挑戦することを推奨します。

### インターンシップと採用プロセス



### インターンシップ参加と内定率について

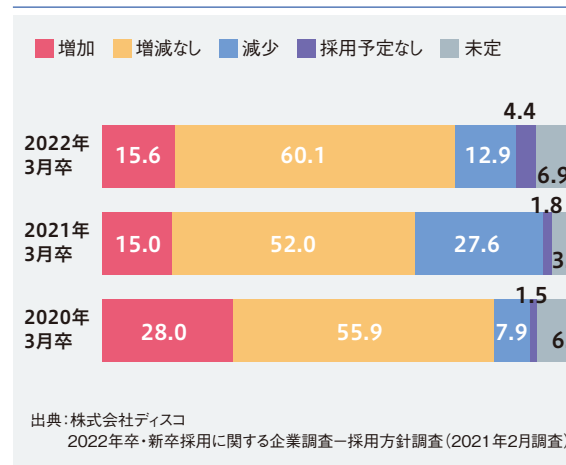


## コロナ禍の採用状況

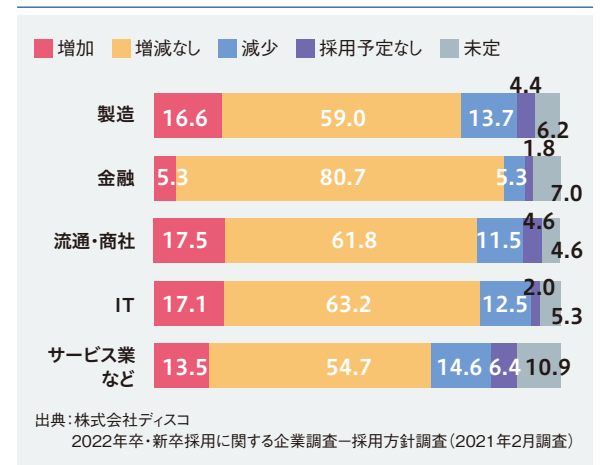
売り手市場の傾向にあった採用状況ですが、新型コロナウイルス蔓延により先行きが見通せない中、2021年3月卒における国内の採用状況は鈍化しました。業界によっても差が生まれ、志望業界の変更を余儀なくされた学生も少なくありません。ただ十数年前に起こったリーマンショックの景況感の中でも、本学学生の内定率は高い水準を保ちました。今年度、本学に届いている求人数も増加しているため必要以上に悲観的にならないように周知を行っています。

選考方法はオンライン化が着実に進んでいます。大手企業の選考活動ではWeb面接が主流となり、すべての選考をオンラインで行う企業も存在しているため、オンライン選考への対策もしっかり行っていきたい状況です。

### 採用予定数



### 業界別の採用状況





SUPPORT

# キャリアセンターのサポート

「オンライン×リアル」のハイブリッド型によりキャリアデザインから就職活動まで、すべてのステップで手厚く支援します。

## 個人面談

キャリアセンターが最も力を入れているサポートのひとつです。有資格者や企業の人事担当経験者などがキャリア・アドバイザーとして、進路や就職活動の悩みなど幅広い相談に応じています。現在の新型コロナウイルスが流行している状況下ではZoomを用いたオンライン面談も導入し、学生は自宅等でも個人面談を受けることができます。



## KGキャリアチャンネル

PC・スマホから就活準備講座、業界・仕事研究セミナーを視聴できる在学生専用のコンテンツです。エントリーシートや面接対策にも活用でき、ライブセミナー実施時はチャットで質問が可能。隙間時間で、より有益な情報を得ることができます。



## KGキャリアChatbot

最新のAI技術を活用したチャットボット導入により、進路や就職に関する学生の質問に、時間・場所を問わず対応できる体制を整えています。過去の膨大な相談事例をもとに、本学学生の状況に合わせたオリジナルQ&Aを独自に作成。履歴書・エントリーシートの作成方法、面接対策などの情報を提供しています。



## 情報発信

関西学院大学キャリアセンター公式アカウントをInstagram、Twitterにて運営し、就職活動に役立つ情報や、セミナーの案内などを発信しています。お子様へのフォロー推進、並びに保護者の皆様の積極的なフォローもお待ちしております！



MESSAGE

# キャリアセンターからのメッセージ

## 1・2年生へのメッセージ

### 充実した学生生活にしましょう

自ら大学のリソースを活用し、今できることを考え実行していく学生と、そうでない学生との間で、これまで以上に差がつきやすくなっています。コロナ禍だったとはいえ、むしろこの状況下だからこそ、企業は学生に対して、どのような学生生活を送っていたかを面接の中で詳しく聞くことで、変化に対応できる人物かどうかを知ろうとしています。難しい状況の中で、どのように考え、行動し、学生生活を充実させるのが大切です！

### インターンシップに参加しましょう

インターンシップはオンライン化と短期化が進んでいます。エリアを問わずエントリーでき、2、3日程度の実施が増加していることもあり、人気企業では参加倍率も高くなっています。今後の選考活動で注力したいことに「インターンシップの強化・実施」を挙げる企業も多く、今後さらに重要性は高まると予想されます。選考に直結するインターンシップも増えているので、少しでも興味のある企業が実施するインターンシップには積極的にエントリーしましょう！

## 3年生へのメッセージ

### エントリーに向けた準備は整っていますか？

3年生の秋・冬はこれまで行っていた自己分析はもとより、業界・企業研究を進めて、年明けからのエントリーに備える期間になります。夏にインターンシップに参加した方は、その経験を今一度振り返り、自分の強みを活かせる業界や企業について更に深く研究していきましょう。秋以降もインターンシップは開催されていますので、情報収集を欠かさず続け自らチャンスをものにしていきましょう。また、インターンシップ選考で不合格となった場合でも、その企業への就職を諦めてしまうのではなく、自分の不足していた部分を補うために自己分析と企業研究を今一度行ったら上で、本選考のエントリーに挑む準備をしていきましょう。先輩訪問やKGキャリアチャンネルなどの動画を活用して、履歴書やエントリーシートを作成の上、個人面談も活用して早めの準備に着手してください。筆記試験の対策も必要です。関西学院の学生は企業から高い評価を得ている一方で、筆記試験の通過率が良くないとも言われています。準備不足による機会損失は避けましょう！



## 4年生へのメッセージ

### 就職活動を頑張って継続している方へ

「関学生専用求人検索サイト」の確認をしましょう。現在でも継続的に本学宛てに求人が届いています！「キャリアセンターおススメ求人」「募集校限定求人」「新着求人」「本社所在エリアや勤務地」などのこだわり検索により、他の活動サイトにはない切り口で企業を検索できます。

### 進路が決定したら？

必ず進路登録を行ってください！（民間企業への就職だけでなく、公務員・教員への就職、大学院への進学、自営業などすべての方が対象です。）



コロナ禍での

# K.G.流 国際教育

## コロナ禍でも充実した 国際教育環境

関西学院大学では、「どれほど困難な世の中であろうと、学生の将来のために、教育と支援をし続けていく」この決意と熱意を持ち、コロナ禍でも、「関学だから、いまできること」をスローガンに、様々な国際教育プログラムを企画・推進してきました。オンラインプログラムでは、海外協定大学との連携のもと、学生同士の交流を重視したプログラムを開発しており、できる限り現地学生との協働が授業時間の30%以上となるようデザインし、この条件を満たしたものをVE\*1プログラムと定義しています。また、一定の基準を満たしたオンラインプログラムに対しては単位を付与しています。

### 2020年に実施したオンラインプログラム及び参加者数(全学開講)

14の国・地域のオンライン国際教育プログラムを31展開し、293名の学部生・大学院生が参加(2020年度実績)。新型コロナウイルス感染症が流行する中でも、多様な選択肢を学生に提供してきました。

#### 提供プログラム

名称	プログラム数	国・地域	参加者数(実績)
交換留学	—	—	55
外国語研修(VE含む)	17	アイルランド・タイ・台湾・韓国・イギリス・アメリカ・オーストラリア・カナダ・マレーシア・インドネシア・スペイン	131
国際学生セミナー・フィールドワーク等交流プログラム	4	ベトナム・カナダ・インドネシア・アメリカ・オーストラリア他	81
COIL*2/VE型科目	2	アメリカ	17

\*1 Virtual Exchange(VE):海外協定大学の学生との交流をオンラインで実施するもので、授業時間数の30%以上を、本学の学生と相手校の学生との「協働学習」で構成するもの。  
 \*2 Collaborative Online International Learning(COIL):Virtual Exchangeのうち、海外協定大学側とシラバスを共同開発し、授業提供も各大学協働で行うもの。各大学でそれぞれ科目を設置し、成績評価や単位の付与を行う。すべてのオンライン国際教育プログラムをVE/COILで実施することは難しいが、「できるだけVEにする」ことを全学で目指している。

### 2021年夏季オンラインプログラム参加者数(全学開講)

夏季のみで、昨年度を超える36のプログラムを展開し、参加予定者は約450名にのぼっています。(2021年8月初旬時点)

各プログラムの詳細はこちら



名称	プログラム数	内容	国・地域	参加者数(予定)
グローバルPBL	6	海外協定大学や企業・団体等と連携し、提示された課題の解決策立案にグループで取り組む	台湾、オーストラリア、ベトナム、カンボジア、カナダ	151
CCC Global Career Seminar	1	カナダ4大学との協働。日加混成グループで、企業・団体等から与えられる課題解決策を立案する	カナダ	19
インドネシア交流セミナー	1	サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学と1977年から毎年開催している国際合同セミナー	インドネシア	15
外国語研修	12	海外協定大学が実施する、短期集中で外国語を学ぶプログラム	アイルランド、イギリス、マレーシア、タイ、オーストラリア、カナダ、アメリカ、韓国、台湾、スペイン	234
国連セミナー	1	国際機関職員との交流等を通じて、国際社会の課題に対する国際機構やNGO等の役割を学ぶ	—	19
国連・外交フィールドワーク	1	東ティモール、インドネシアの国連機関、外交機関を対象とした仮説検証型のフィールドリサーチ	東ティモール、インドネシア	17

## コロナ禍での国際交流

### GS Networkとは?

学生交流団体GS Network(Global Student Network)は国際教育・協力センター(CIEC)が運営する国際交流のための学生ピア・サポート団体です。現在約40名の学生メンバーにより運営され、昨年はコロナ禍の影響もありましたがオンラインを含む4つのイベントを開催しました。GS Networkでは、地域の団体や企業、他大学の国際交流団体などと連携する「連携部」、SNSやチラシを通じてイベントや活動を情報発信する「広報部」、円滑なイベント運営を裏方から支える「経理部」の3つの部門で協力して関学の日本人学生と留学生の交流促進のために様々な活動に取り組んでいます。

### Pick-Up オンライングローバルカフェ

オンラインツール(Zoom)を活用し、関学生と関学で学ぶ留学生がグループに分かれて、自分の国のことやコロナ禍での過ごし方、お気に入りの映画やドラマについて気軽に話し合うイベントです。日本語または英語で開催され、初めて参加される学生も参加しやすいよう、各グループにはGS Networkのメンバーがサポートとして参加しています。2021年度は、5月より毎週開催され、これまで約200名の関学生や留学生が参加しました。今後、海外大学の学生をオンラインで招き、関学生と交流するイベントも企画しています。



## REPORT

## 上智大学・関西学院大学合同シンポジウム

### 「オンライン留学を語ろう! ~学生とともに考えるオンライン国際教育の可能性~」

[日時] 2021年6月20日(日) 14:00~15:40(オンライン開催)

関西学院大学は6月20日(日)、教育連携協定を締結している上智大学と合同で公開シンポジウム「オンライン留学を語ろう! ~学生とともに考える、オンライン国際教育の可能性~」をオンラインで開催し、一般の方も含め約380名が参加しました。

コロナ禍によって海外渡航が難しく、「従来型の留学」の見通しが立たないなかで、「オンライン留学」の充実化が進んでいます。しかしながら、オンライン留学で学べることや魅力が十分に伝わっているとはいえ、また海外渡航にこだわるあまり、参加をためらう学生も少なくありません。そこで、オンライン留学を昨年から積極的に展開する両大学で、実際に体験した学生各2人がパネリストとなり、オンライン留学「でも」できたこと、オンライン留学「だから」できたこと、オンライン留学「では」できなかったことについて生の声を聞き、「今できること」の1つであるオンライン留学の促進を図りつつ、ポストコロナを見据えた国際教育のあり方を学生目線で検討することを目的に企画されました。本学からは、総合政策学部3年生の嶺嶺(こうけつ)響七さんと、経済学部4年生の佐藤美乃里さんが発表し、お2人からは「オンライン留学だからこそ、今まで興味がなかった分野のプログラムに気軽に参加することができ、視野が広がった」、「オンラインだからこそ積極的なコミュニケーションをとる必要性を感じた」といった発言がありました。

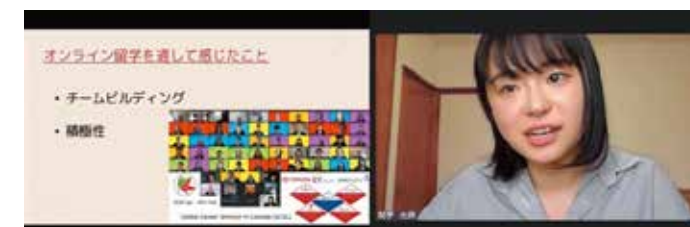
最後に、国際教育の有識者としてお迎えした太田浩一橋大学教授から「オンライン留学を海外渡航型留学の代替としてではなく、多くのメリットや教育効果をもたらす新たな国際教育の形としてとらえるべきだ」ということが、学生たちの声から明らかになった」との総括をいただきました。

また、閉会の挨拶では、本学の丸楠恭一副学長(国際連携担当)が「『境界を越える』ことが現代の学びの要となること、ICTがそれをより進化させ、オンライン留学という新しい学びの形が全ての学生に国際教育へのアクセスを可能とした一方で、オンラインだからこそ人と人の人間的なコミュニケーション能力の重要性がますます高まっていることがよくわかった」と締めくくりました。

関西学院大学では、このシンポジウムの成果を踏まえ、オンライン留学について、今後も単なる留学の代替としてではなく、学生たちの新たな可能性を拓けるツールとして開発・提供に取り組んでいきます。



ベトナムの異文化体験セミナーについて話す嶺嶺響七さん(総合政策学部3年)



カナダの4大学と本学が協働で実施するCross-Cultural College(CCC)での体験を話す佐藤美乃里さん(経済学部4年)



# 数字で見る

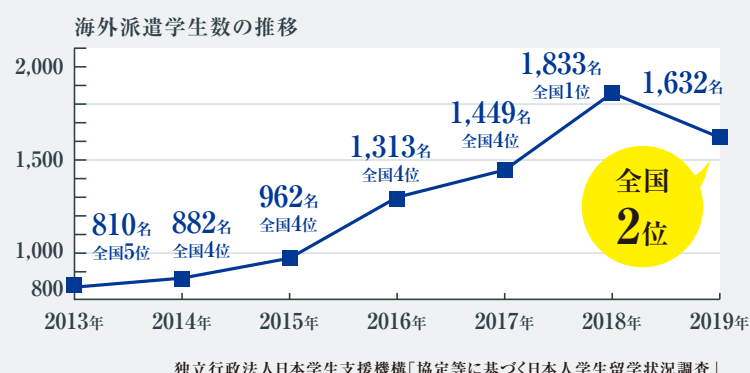
## 関学の国際教育

### 協定に基づく海外派遣学生数

全国第1位

(2018年度実績)

本学の海外派遣者数は全国でもトップレベル。2020年4月に公開された日本学生支援機構「2018年度日本人学生留学状況調査結果」では、**1,833人**を派遣し、**協定に基づく海外派遣学生数日本一**を達成。2021年4月公開の同調査(2019年度実績)ではコロナ禍の影響を受けながらも、僅差で2位となりました。



### TOEIC670点以上取得者

約**3,090**名

(2020年度実績)

グローバル化を牽引する大学(SGU採択校)として、本学では学生の英語力向上を重視しています。2020年度は**約3,090人**の学生が、本学が独自に定める英語力基準を達成しました。

手厚いサポート

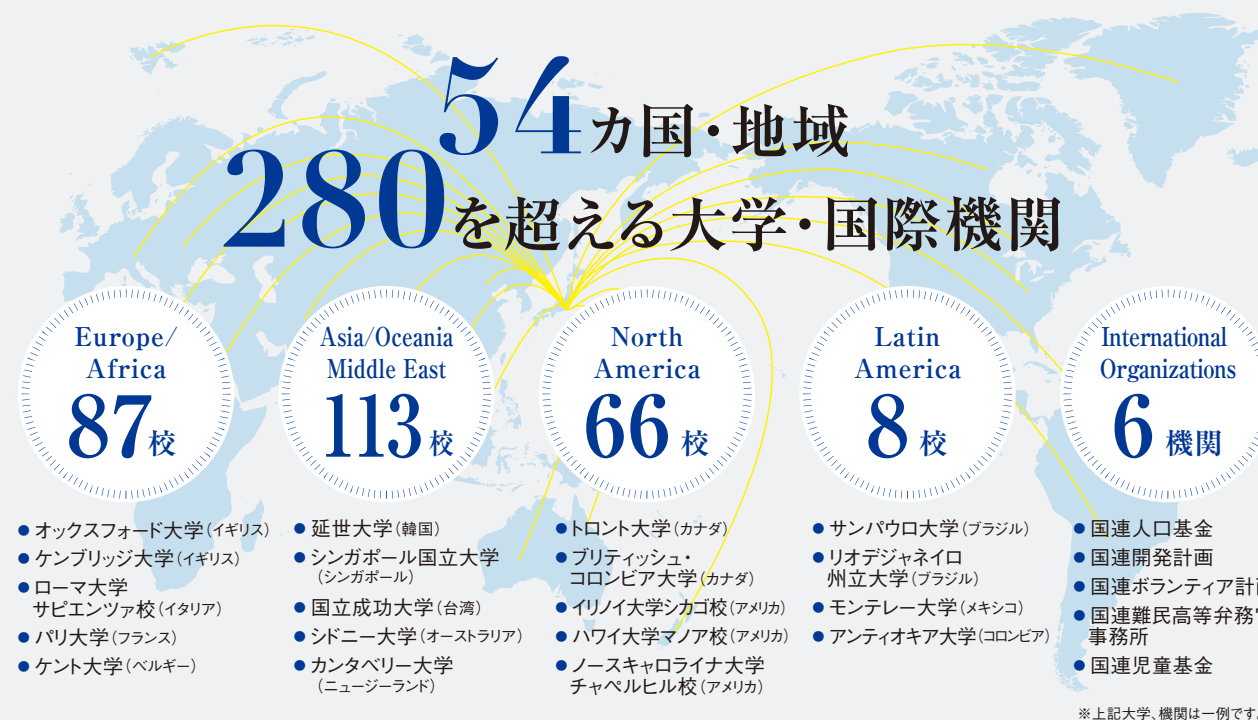
- 英語検定試験の**無料受験**
- 英語検定試験対策教材の**貸し出し**
- 授業や無料講座で**徹底サポート**
- 英語e-learning教材の**無料提供**

もっと知りたい方は



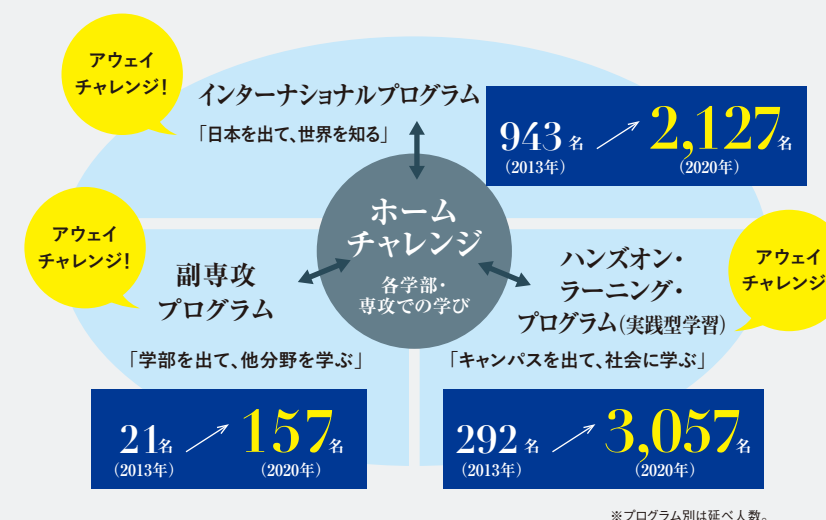
## 豊かなグローバルネットワーク

世界54カ国・地域、280を超える大学・国際機関と連携協定を締結。協定校・機関との連携による質の高い留学プログラムを多数提供しています。



## スーパーグローバル大学創成支援事業採択「グローバル・アカデミックポート」構想

関西学院大学は、文部科学省が重点的に国際化を財政支援する「スーパーグローバル大学」(全国で37大学)の1つです。グローバルに活躍できる世界市民を育てるため、全学生に自身の所属学部や専攻の学び(ホームチャレンジ)に加えて、異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」への挑戦を促す「ダブルチャレンジ制度」を導入しています。2020年度、ダブルチャレンジを修了して卒業した学生は**2,907人(実数)**。卒業生の約半数がダブルチャレンジを経てたくましく成長し、社会へはばたきました。



### ダブルチャレンジ修了者の声をWebサイトで紹介!

中には、短期留学からスタートし、中長期の留学へステップアップする学生も。本学の多様なプログラムが学生のチャレンジを後押しします。







10/23-24  
Sat Sun

11/6-7  
Sat Sun

11/13-14  
Sat Sun

## 今年の新月祭は

# ハイブリッド学祭

ON CAMPUS  
ON the Web

私たち関西学院大学大学祭総部新月祭実行委員会は、関西学院大学における大学祭「新月祭」の企画・運営を行っています。

今年度のスローガンは「新しいは、無限大」です。新型コロナウイルスの影響により、昨年度の新月祭はオンライン開催となりました。今年度は、対面とオンラインでの開催を行う「ハイブリッド学祭」を企画するにあたり、コロナ禍における前例のない学祭は新しいことがいっぱい、新月祭の可能性は無限大です。

学生企画団体や実行委員、来場者などの新月祭に関わる皆さま一人ひとりが「新月祭2021」及び「関西学院大学」と触れ合い、楽しんでいただくことで、この社会における希望の光、そして世界中・世界中に笑顔を送るきっかけとなることを祈っています。

新月祭は、関西学院大学3キャンパスに分かれてそれぞれ行われ、来場者の層や企画・イベント・展示の内容も大きく異なります。

各キャンパスの雰囲気や、学びの特徴を生かしたユニークな企画もお楽しみいただきたいです。

また、自治学祭である新月祭の開催は、保護者の皆さまのご協力があってこそ成り立っています。たくさんの方々の期待に沿えるよう、実行委員を中心として準備してきましたので、ぜひ各キャンパスにお越しいただき、間学生の活発な活動とその魅力をたっぷり味わってください。

### 新月祭から皆さんに笑顔を送る場所となりますように。

今年度大学祭総部新月祭実行委員会の委員長をしております作本育海です。私たち実行委員は今年2月から対面とオンラインの両方での開催を検討し、日々検討を重ねてまいりました。コロナ禍での学祭開催は障害が多く困難なことばかりでしたが、実行委員全員で知恵を出し合い、また前例のない取り組みに対して挑戦し続ける気持ちを持って取り組むことでなんとか対面を含む開催へとたどり着くことができました。私たちを含むすべての学生で新月祭を盛り上げ、楽しい空間にしていきます。是非とも私たち関学生の底力を、この目で見て、一緒に盛り上げていただければ幸いです。皆さまのご来場、心からお待ちしております。

大学祭総部 新月祭実行委員会  
委員長 **作本 育海**  
(経済学部 3年)



### 神戸三田キャンパス

- 1 三田イベント**  
食品サンプル作りなど子供から大人までが楽しめるような企画を行います!  
日時 10月23日(土) 12:40~16:30 10月24日(日) 10:00~16:30
- 2 三田お笑いライブ**  
人気お笑い芸人を3組お呼びして、1組15分のネタ披露を行います!見に来てくれた人全員が笑顔になること間違いなしです!  
日時 10月23日(土) 14:30~15:15
- 3 三田トークショー**  
豪華なゲストをお呼びしてトークショーを行います!去年のゲストはフワちゃんさんでした!今年は誰が来るのでしょうか?お楽しみに!  
日時 10月24日(日) 15:00~16:00

### 充実した時間を 三田キャンパスで!

神戸三田キャンパスは自然に囲まれた落ち着いた雰囲気のキャンパスです。トークショーやお笑いライブを中心に多くの企画が行われます!新月祭のトップバッターとして魅力ある企画ばかりなのでぜひお越しください!

大学祭総部 新月祭実行委員会  
副委員長・三田代表  
**竹澤 昂佑** (理工学部 3年)



### 西宮上ヶ原キャンパス

- 1 上ヶ原模擬店グランプリ2021**  
全模擬店が味と魅力で勝負するガチンコバトル。今年の王者は誰だ!  
予選 11月6日(土) 12:30~18:00 11月7日(日) 10:00~13:00  
決勝 11月7日(日) 15:15~16:00
- 2 イルミネーション2021**  
関学のシンボル中央芝生に出現する幻想的な空間で、大切な人と過ごしませんか。  
日時 11月7日(日) 17:00~19:00 (点灯式:17:00~)
- 3 上ヶ原トークショー2021**  
テレビで大活躍の大人気ゲストをお呼びし開催するトークショー。企画後半には豪華プレゼント抽選会も!  
日時 11月7日(日) 14:00~15:00
- 4 上ヶ原ライブ2021**  
中央芝生特設ステージで開催される屋外ライブで、新月祭のホールテージもMAXに!  
日時 11月6日(土) 15:45~16:45

### 上ヶ原キャンパスでより熱く、 より濃い学祭を!

西宮上ヶ原キャンパスは、8学部を抱える関学最大規模のキャンパスです。今年度から、上ヶ原学祭は3日間から2日間に縮小されます。日程は減少しますが、上ヶ原学祭の質と熱量は変わりません。より濃くなった2日間をぜひお楽しみください!

大学祭総部 新月祭実行委員会  
副委員長・上ヶ原代表  
**田中 凜** (文学部 3年)



### 西宮聖和キャンパス

- 1 あそび**  
今年度は新たに、聖和の森の自然を使った工作コーナーを行います。全3種類の遊びを思いっきり楽しんでください!  
日時 11月13日(土) 12:40~16:30 11月14日(日) 10:00~16:30
- 2 お笑い**  
今年度は3組の人気お笑い芸人さんをお呼びします。たくさん笑って普段の疲れを吹き飛ばしてください!  
日時 11月14日(日) 14:00~15:00
- 3 フェスタ**  
関学生や地域の方々が、ダンスやマジック、演奏などを行う様々な分野のステージ企画となっています!  
日時 11月13日(土) 14:00~15:55

### 笑顔をつくる 聖和キャンパス

西宮聖和キャンパスには、普段からたくさんのお子さんが遊びに来ています。そのため、新月祭2021ではお子さまを中心とした、幅広い年齢の方が楽しめる企画を行います。教育学部らしい柔らかいほのぼのとした雰囲気をぜひご堪能ください!

大学祭総部 新月祭実行委員会  
副委員長・聖和代表  
**笹尾 雪乃** (教育学部 3年)







たのしい! うれしい! なつかしい!  
ご家族と母校で過ごすとおきの1日。

# Homecoming Day 2021

関西学院 ホームカミングデー  
in 上ヶ原キャンパス

11/14日  
10:00 ▶ 16:00

## 関西学院の「空中散歩」をたのしもう! 熱気球KGフライト 2021

要予約

中央芝生から全長25mの大迫力の熱気球に乗って、旧友やご家族と一緒にたのしいキャンパスの景色を空からお楽しみください。



**事前予約はこちらから**

ホームカミングデー  
特設ホームページから  
ご予約ください。



事前予約開始時期は10月中旬を予定しております。詳細につきましては特設ホームページ、またはSNSにてご案内いたします。

## 学部ごとの多彩なプログラムを自由体験! 子ども大学

小学生対象  
要予約

大学生ってどんなことを勉強するの?そんなお子さまの疑問に答えるため、ホームカミングデーだけの特別なプログラムをご用意しました。みんなで楽しみながら、関西学院大学の学びを一足先に体験してみてください!



体験後は「修了証」を発行!



修了証イメージ

## KG生になって学ぶたのしさ体験しよう! 現役学生によるKG体験

小学生対象  
要予約

関西学院中学部・高等部や関西学院千里国際中等部・高等部の生徒と一緒にKG生の学びを体験しよう!



## お兄さん・お姉さんたちと一緒にたのしもう! クラブ体験

小学生対象  
要予約

関西学院大学のクラブに、一日入部体験!誰でもお楽しみいただけるよう、現役関学生が付きっきりで指導にあたります。体育会系から文化系まで、多彩なクラブがお子さんの挑戦をお待ちしています!



※学内における感染防止に対応する活動制限レベルにより実施できない場合があります。

※写真はすべてイメージです。  
※全てのプログラムは予定のため、予告なく変更・中止する可能性があります。

最新情報は SNSでチェック!

フォローしてネ♪




「いいね!」してネ♪






# Homecoming Day 2021

ホームカミングデー お問い合わせ・予約

(主催) 関西学院同窓会  
 MAIL: dousoukai@kwangaku.net  
 TEL: 0798-51-3604  
 〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155  
 (主催) 関西学院総務部校友課  
 TEL: 0798-54-6010  
 (後援) 関西学院後援会

その他の開催プログラム

## information

全てのプログラムは予定のため、予告なく変更する可能性があります。また、新型コロナウイルスの感染状況により、中止や内容が変更となる可能性があります。会場によっては入場制限を行うこととなります。最新情報は特設ホームページにてご確認ください。

新型コロナウイルス感染予防のため、必ず当日の検温、マスクの着用をお願いします。

西宮上ヶ原キャンパスには駐車場はございませんので、公共交通機関(電車・バス等)をご利用ください。

「新月祭2021」につきましては、下記ホームページで確認ください。 <https://shingetsusai.com/>

### 総合受付

9:30~15:30

正門

後援会通信同封の入場券に氏名等を記入して必ずご提出ください。  
 検温で体温が37.5度以上の方は入場していただけません。



### ワクワク体験!

キャンパス周遊

● **謎解きクイズラリー** (関西学院高等部社会部クイズ班監修)

クイズポイントを巡って  
 関学生にチャレンジ!

G号館スタート

● **キャンパスツアー** (KG CLUB)

現役の関西学院大学生が、  
 西宮上ヶ原キャンパスをご案内します!

時計台前集合・1時間毎に開始

時計台前

● **未来の関学生! フォトジェニック**

「なりきりインスタグラマー」になって  
 時計台の前で写真撮影しよう!



### ホッと一息!

10:00~15:00 プラザ前

● **キッチンカー**

キッチンカーが集結!  
 おいしいメニューが盛りだくさん!



営業している食堂を除き、お食事は「飲食可能エリア」でのみ可能です。会場内での食べ歩きは禁止いたします。

11:00~20:00 関西学院会館 レストランポプラ

● **レストランポプラ**

ホームカミングデー当日は、風の間にも席をご用意。  
 ご来店をお待ちしております!

ランチタイム	ティータイム	ディナータイム
11:00~14:30	14:30~17:00	17:00~20:00 (19:30 L.O)

ご予約・お問い合わせ TEL: 0798-54-1188 (直通)

\*営業時間が変更となる可能性があります。

### 茶道部による呈茶

11:00~15:00

中央講堂 東側入口

茶道部の現役学生が、美味しい抹茶とお菓子でおもてなしいたします。表千家による奥深いお茶のひとときをお楽しみください。

### グリークラブ演奏会

15:00~15:30

関西学院会館 2階 光の間

ホームカミングデーの一日を締めくくる、グリークラブの演奏をお楽しみください。

## 初等部在校生の保護者の皆様

今年のホームカミングデーでは、お子様にご参加いただけるイベントを多数ご用意しております。“こども大学”プログラムでは大学教員が小学生向けに授業を行います。興味・関心の幅を広げ、学ぶ楽しさを体験していただくことはもちろん、お子様の将来像を身近に感じていただける機会と考えております。総合政策学部、建築学部、理学部、工学部、生命環境学部の5学部の中からご希望の学部の学びをご体験ください。

そのほか、クラブ体験や消しゴムはんこ作成体験、プログラミング体験、SDGsワークショップ等の様々な体験コーナーもご用意しております。(\*プログラムによって、事前予約が必要となります) ホームカミングデーにお越しいただいた小学生の方には、入場の際に総合受付にてプレゼントをお渡しさせていただきます。

詳細につきましては、特設ホームページ、またはSNSにてご確認ください。(＃関西学院ホームカミングデー)

## 中学部・高等部・千里国際・大学在校生の保護者の皆様

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学生生活における様々な活動制限やイベント実施の中止、延期といった状況が続いております。

ホームカミングデーでは在学生の皆さんに今まで取り組んできたこと、頑張ってきたことを発表する場として、様々なイベントでご協力をいただいております。

新型コロナウイルス感染拡大防止について、細心の注意を払い感染症対策を講じた上で実施します。しかしながら、今後の状況により中止させていただく可能性があります。あらかじめ、ご承知おきのほど、宜しくお願いいたします。詳細につきましては、特設ホームページをご確認ください。

**後援会通信同封の入場券を必ずご持参ください。当日お持ちでない方は入場できませんのでご了承ください。**

特設ホームページより各種プログラム参加のための事前予約、事前アンケートの回答をお願いします。



NIWA NOBORU

丹羽 登 教育学部 教授

# CLOSE UP RESEARCH

関西学院の学びを支える教育者であり、また飽くなき探究心を持ち続ける研究者でもある  
教授・教員陣の最前線をレポートする。

ICTの活用で教育現場に  
変革をもたらし、子どもたちの  
“未来を生き抜く力”を養う。

近年のICTの普及により、私たちの生活は非常に便利なものになっています。ここ数年で急速に広まったスマートフォンでは、AR (Augmented Reality: 拡張現実)・VR (Virtual Reality: 仮想現実) 分野の技術がかなり実用的に使われていますし、QRコード決済も可能となっています。しかし、教育現場ではどうでしょうか。何十年も変わらない慣習が引き継がれ、時代に対応していない指導方法が多いのが現状です。例えば、黒板への板書。多くの先生が重要な箇所を使う赤色のチョークは、色弱の人には見えづらいと言われています。ましてや、小学生の子どもであれば、見えていないことを上手く主張するのも困難かもしれません。同じように教科書の書体や明朝体だと識別しにくい子どもがいるなどの問題点があります。また、子どもたちが社会に出ていく20・30年先、今よりもっとあらゆるものが発達した未来で生き抜くための力を身に付けるには、ICT技術への対応も必須と言えるでしょう。教育分野においても時代にあった取り組みが求められているのです。私が教育分野のICTの活用に着目したのは、就職して3年目の時に教え子の1人が亡くなったことがきっかけです。高校時代から障害者自立に関わるボランティア活動をしていた私は、大学で教育分野について学んだ後、小学校・特別支援学校に就職しました。その教え子は重度の障害があり、他者との意思疎通が難しい状態でした。彼は腸閉塞を患い苦しんでいたのですが、それを周囲に伝える手段がなく、そのまま亡くなってしまったのです。何だか様子がおかしいというような人間の感覚に頼るのではなく、正確に障害児の異変をキャッチできるものが必要だと考えた際に、教育現場へのICTの活用という考えにたどり着きました。その後、大阪府の教育委員会や文科省で特別支援教育の本格的な制度設計に携わった後、研究職に就くことに。研究テーマとして掲げているのは、特別支援教育(病気や障害のある子どもの教育)です。特別支援と言っても、特定の子どものために特別な対応をしているわけではなく、すべての子どもの教育機会を広げるという観点から、教育現場のICT活用を後押しするべく研究を推進しています。





## 5GやVR・水中ドローン等の先端技術を活用した 臨場感溢れる遠隔授業プロジェクト。

2019年、関西学院大学は教育現場でのICTやネットワークの活用を進めるために、富士通株式会社と共同研究契約を締結。私は関西学院大学を代表し、この共同研究プロジェクトを推進することになりました。プロジェクトは、持続可能な開発目標（SDGs）の4番目の目標にもある「誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び」の実現を目的として、①不登校の児童・生徒、②過疎地などの高等学校、③病気療養中の児童・生徒、④病弱な児童・生徒への対策に着目。多くの企業や施設に協力いただきながら、5G、水中ドローン、VRなどの高精細技術を駆使し、様々な事情により学校に通うことが難しい子どもへの遠隔教育に取り組みました。

まず着手したのは、最新技術を活用した教員研修です。東京と大阪の2拠点で教室に全天球カメラを設置し、複数の教員や研修会の講師等が個別に見たい方向の映像を見て効果を測りました。発信している映像は1つだけですが、それぞれが見たい方向を見られるというのは大きな利点でした。しかし撮影範囲が360度であるため、天井や床を映した不要なデータも配信してし

まうことになります。さらに効率よく運用していくには、どのようなカメラを使うのが有効か、今後も検討していく予定です。これを応用すれば、例えば授業参観の時に保護者が教室の後ろから授業風景を見るだけでなく、授業を受けている自分の子どもの表情まで見えるような仕組みが生まれるかもしれません。

そしてプログラムのメインとなったのが、水族館と連携した遠隔校外学習です。これは入院中の児童・生徒に、病院にいながらでも海や海の生物についての学びを深められる体験を提供することで、通常では校外学習の機会を得ることが難しい環境にいても質の高い教育内容を届けられることを実証するものです。八景島シーパラダイスとの連携プログラムは、入院中の児童・生徒が病院から大水槽内にある水中ドローンを遠隔操作し、生き物を観察するという内容で実施しました。水中ドローンに標準でついているカメラでは1方向の映像しか写さないので、なかなか実際に体験しているような臨場感を出すことは困難です。そこで、全天球カメラを水中ドローンに装着して得た水槽内の映像と、ARを用

いたコックピットのアニメーション映像を組み合わせ、まるで自分が操縦室にいるような動画を見られるようにしました。子どもが病室でコントローラを動かすと、それにあわせて実際に水族館にある水中ドローンが動くため、操作は自由自在。子どもたちは楽しんでいました。実施後に訪れた水族館では、子どもよりも保護者のほうが夢中になっているご家族も(笑)。その姿を見て、多くの人に楽しんでもらえる可能性があると感じました。そして沖縄の美ら海水族館との連携プログラムでは、水族館員による指導と水槽内見学・5Gを活用した疑似体験を実施しました。東京の病院内教室と美ら海水族館を5G回線で結び、ジンベエザメの餌付けの様子などを観察。1つの映像を、大勢の人が同時に視聴でき、さらに各自が見たい方向を見られるのがポイントです。ダイバーが全天球カメラを手に、水槽の中を泳ぎ回ること、より臨場感のある映像を届けられました。

一連のプロジェクトは、「第4回ジャパンSDGsアワード」[「パートナーシップ賞(特別賞)」]や「IAUD国際デザイン賞2020金賞」、「第14回キッズデザイン賞」を受賞し、注目を集めることができました。Society5.0で求められている現実社会と仮想社会との有機的な融合を、学校教育でどう進めていくのかは大きな社会課題の1つです。最近では、ARやVRが携帯型のゲームやスマートフォン等で使われることが多くなってきています。意識していなくても、現実社会と仮想社会との融合は様々なところで始まっているのですから、学校教育の場でも遅れをとるわけにはいきません。今回のプロジェクトはその先行事例の1つとなりました。成果としては、全天球カメラ・ヘッドマウントディスプレイ・タブレット端末を使った360度映像の視聴、4K映像や高速画像圧縮、5G回線の先行活用等を、本格的な普及の前に実施し、その有効性を証明できたことにあると思います。

## 多様な立場の人がいる社会で 他者と関わることが、自らの成長に。

スマートフォンに内蔵されている音声認識は、もともと障害者のための機能として備わっていたものです。それが今では一般的に広く活用されています。このように、特定の誰かのために考えられたものが、結果的に多くの人のためになることがあります。障害があることだけが特別ではありません。左利きの人は世界で約10%、HSP(Highly Sensitive Person:非常に感受性が強く敏感な気質を持った人)は約20%、LGBTQは約9%、色弱は男性のうち約5%と言われています。あらゆる立場でのマイノリティを見てみると、その数は決して少なくはありません。私たちは様々な場面で多様な立場の人がいることを前提として社会を創造する必要があり、生き辛さを感じている人の声を拾うことは、社会の豊かさに繋がるのです。多様性の社会では、自分にとっては些細なことでも、他者からすると特別なものや新鮮なものとして見えていることは多々あり、そんな他者との違いが自分の視野を広げてくれます。しかし、他者との関わりがないと新しい世界に気づかずに通り過ぎてしまうことでしょう。学生のみみなさんには、大学生活で他者と触れ合う機会を上手く掴んでほしいです。



### PROFILE 丹羽 登 教育学部 教授

特別支援学級や特別支援学校の教員として重度障害児教育に携わる傍ら障害児のICT活用等の研究活動を進める。文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官を経て、関西学院大学教育学部教授。研究テーマは特別支援教育(病気や障害のある子どもの教育)。特に病弱教育、障害のある子どものICT活用、医療的ケア、難病児者の課題を扱う。また、それらの子どもが関連する、いじめや虐待、不登校等の課題解消に向けて、西宮市や兵庫県といった自治体の委員としても活動している。病弱教育や障害児のICT活用に関する著書・論文多数。



# 後援会報告

本来であれば、代議委員会の中で常務役員を紹介しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で叶わなかったため、この場をお借りして2020年度をもって退任した常務役員、2021年度に就任した常務役員から挨拶を申し上げます。

## 前役員挨拶

前会長

### 田口 明宏

保護者のみなさま、平素は関西学院後援会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。後援会事業として今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響の中、学生が少しでも充実した学校生活をおくれるような事業を実施させていただくことができました。

後援会役員を務めた4年間で全国の保護者の方々とお会いしご意見をお聞きしたり、学院の方々と学生への援助について意見交換させていただいたり貴重な経験をさせていただきましたことに心より感謝申し上げます。

そしてこれからも、関西学院で学ぶ学生・生徒・児童が美しいキャンパスでのびのびと学生生活を送り、スクールモットーである「Mastery for Service」を体現し、真に豊かな世界市民として活躍されることを心よりお祈りいたします。



前会計

### 馬場 摩貴雄

皆様におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦勞は如何ほどかと拝察いたします。

常務役員を拝命いたしまして早いもので4年が経ち、これまで後援会に携われたことに心から感謝申し上げます。

関西学院は在校生・卒業生の「母校への思い」が強いとお話は常々耳にしてまいりましたが、後援会活動を通じて御一緒させていただきました保護者の皆様の「関学愛」の強さは、在校生・卒業生に勝るとも劣らないものであり、この素晴らしい思いが一つとなり、関西学院が未来という空へ羽ばたくための翼になっているのだということを実感した4年間でした。

何かと不便の多いことが続きますが、平穏な日々を取り戻せるよう心から願っております。



前会計監査

### 徳島 一孝

この度、4年間務めさせて頂きました常務役員を退任致すことになり、時の流れの早さを感じております。

長男、次男共に高等部から関西学院でお世話になり、現在では共に社会人となりましたが、私も含め今でも何らかの形で関西学院との付き合いが続いておりますことに改めて気づくとともに、お世話になっております多くの方々に感謝する日々でございます。

特に、後援会活動での保護者交流会や教育懇談会などを通じて多くの方々とお会いし、お話ができましたことは私にとりまして感謝とともに大切な思い出となっております。

最後となりましたが、皆様のご健勝とご活躍、関西学院、後援会の益々ご発展をお祈りし、退任のご挨拶とさせていただきます。



## 新役員挨拶

庶務

### 青山 まゆみ

この度、後援会常任役員を務めさせていただくことになりました青山と申します。現在、国際学部1年生の娘がお世話になっております。親もまたこのようなご縁をいただき、身の引き締まる思いでございます。

コロナ禍に於いて様々な困難や不自由に立ち向かう子ども達のため、関西学院後援会のために、微力ではございますが誠心誠意務めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



庶務

### 江田 政亮

楽しいはずの学校生活ですが、コロナ禍で子どもたちも不自由を強いられています。一日も早く、普通の学校生活を過ごせる日が戻ることを願うばかりです。

さて、この度、常務役員を拝命いたしました。私自身が10年間お世話になり、その後は同窓会の支部のお世話をさせていただき、2人の子どもも中学部からそれぞれ10年学ぶ予定の関西学院と、よりご縁を強くして頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

私がそうだったように、母校のことを思う心を多くの子どもたちも育めるよう、そのサポートをする後援会の役員として微力ながら尽くしたいと思います。皆様のお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。



庶務

### 玉田 明人

この度、ご縁を頂戴し今年度の後援会の常務役員を仰せつかりました玉田です。この春より息子が商学部でお世話になることになりました。私自身も中学部から大学まで関西学院にお世話になり、娘も現在経済学部の3年に在籍と、親子共々関西学院に育てていただいている次第です。

このような大変な役目、私には少々荷が重く思っておりますが、関西学院への感謝の意味も含め、微力ながら支え、少しでもお役に立ちたいと思っております。

昨年からの猛威をふるっているコロナ渦の中で、生活様式が一変した学生生活、いつ戻るかわからない日常な学生生活、そういった子供たちの不安、保護者の皆様方の不安の後援会という組織を通じて、皆様方と共に前を向いて歩んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



庶務

### 豊田 正明

この度、後援会常務役員を務めることになりました豊田正明です。娘が2008年に初等部に入学してから12年が経過し、この4月から法学部で学ぶことになりました。

社会人となる前の貴重な大学生活が、充実した期間となることを願うと同時に、子ども達の明るい未来のために、保護者の皆さまと共にしっかり支える活動ができればと思っております。

微力ではございますが全力で努めてまいります。





# 後援会報告

## 2021年度 関西学院後援会代議員会・第1回幹事会記録

2021年6月に予定されていた代議員会・第1回幹事会は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑みて、代議員・幹事の皆様を招集せず、議案に対する議決権をインターネットにより行使していただき、正副会長のみで開催いたしました。

### I 2020年度 事業報告に関する件(代議員会 報告事項)

那須副会長より、2020年度後援会事業(P.42)に基づく報告があった。

### II 2020年度 会計報告に関する件(代議員会 報告事項)

那須副会長より、2020年度後援会決算書(P.43)に基づく会計報告があった。

### III 2020年度 会計監査に関する件(代議員会 報告事項)

那須副会長より、2020年度の会計報告について、会計監査の徳島常務役員および土山常務役員が帳簿の内容を監査し、公正かつ正確に一致していることが確認されたとの報告があった。

### IV 後援会ホームページ・コロナ禍特設ページ開設に関する件(代議員会 報告事項)

那須副会長より、コロナ禍だからこそできる国際交流の方法、コロナ禍における就職活動のあり方について情報を発信すべく、特設ページを開設したことについて報告があった。



### V 2021年度 新幹事選出に関する件(代議員会 審議事項)

新幹事候補者を常務役員会にて選出し、この選出案について、代議員によるインターネットを利用した議決権行使で採決が行われた結果、賛成多数によりこれを承認した。

### VI 2021年度 新常務役員選出に関する件(幹事会 審議事項)

新常務役員候補者を常務役員会にて選出し、この選出案について、代議員によるインターネットを利用した議決権行使で採決が行われた結果、賛成多数によりこれを承認した。

### VII 2021年度 事業に関する件(代議員会 審議事項)

2021年度後援会事業計画(P.42)を常務役員会にて作成し、この計画案について、代議員によるインターネットを利用した議決権行使で採決が行われた結果、賛成多数によりこれを承認した。

### VIII 2021年度 予算に関する件(代議員会 審議事項)

2021年度後援会事業予算(P.44)を常務役員会にて作成し、この予算案について、代議員によるインターネットを利用した議決権行使で採決が行われた結果、賛成多数によりこれを承認した。

### IX 関西学院後援会会員継続制度『卒業生家族の会』設立および後援会規約改正に関する件(代議員会 審議事項)

卒業生家族の会の設立、それに伴う後援会規約改正について、代議員によるインターネットを利用した議決権行使で採決が行われた結果、賛成多数によりこれを承認した。

## 主な後援会事業

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新生入生父母歓迎記念事業</li> <li>● 新生入生父母歓迎記念品作製</li> <li>● 新生入生父母歓迎プログラム</li> <li>● レッツ・ゴー・ツー・ザ・スタジアム</li> <li>● 卒業生父母記念事業記念品作製</li> <li>● 「後援会通信」発行</li> <li>● 後援会Webサイト運営</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 後援会表彰</li> <li>● 就職・留学ガイド</li> <li>● (大学1・2年生保証人向け)</li> <li>● 後援会奨学金</li> <li>● 保護者交流会開催</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学教育懇談会援助</li> <li>● 学生・生徒・児童の活動・行事援助</li> <li>● 国際交流振興援助</li> <li>● 教育研究活動援助</li> <li>● 就職活動援助</li> <li>● 成績表郵送費援助</li> <li>● 海外受入派遣活動援助</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報活動援助</li> <li>● 奨学援助</li> <li>● 学生教育研究災害傷害保険援助</li> <li>● 関西学院クリスマスat</li> <li>● ザ・シンフォニーホール援助</li> </ul> |
|---|---|---|--|



正副会長のみで開催した代議員会・第1回幹事会の様子

## 2020年度 後援会事業

開催日	2020年度 実施事業	
4月 1日(水)	・「後援会通信」第58号発行	
4月17日(金)	・第1回 常務役員会	於：メール持ち回り開催
6月20日(土)	・第2回 常務役員会	於：オンライン開催
6月27日(土)	・2020年度代議員会 ・第1回 幹事会	於：インターネットを利用した議決権行使による開催
7月18日(土)	・第3回 常務役員会	於：オンライン開催
9月19日(土)	・関西学院大学 中国地区教育懇談会	於：オンライン開催
10月 1日(木)	・「後援会通信」第59号発行	
10月17日(土)	・第4回 常務役員会	於：オンライン開催
10月24日(土)	・関西学院大学 北陸地区教育懇談会	於：オンライン開催
11月13日(金)	・第5回 常務役員会	於：オンライン開催
11月21日(土)	・関西学院大学 九州・沖縄地区教育懇談会	於：オンライン開催
2021年		
1月19日(火)	・後援会表彰式 関西学院高等部	於：高等部視聴覚室
1月22日(金)	・第6回 常務役員会	於：オンライン開催
2月 8日(月)	・後援会表彰式 関西学院初等部	於：初等部礼拝堂
3月11日(木)	・後援会表彰式 関西学院千里国際 中等部・高等部	於：未定
3月13日(土)	・後援会表彰式 関西学院中学部	於：高中部礼拝堂
3月20日(土)	・第7回 常務役員会 ・第3回 幹事会	於：オンライン開催 於：インターネットを利用した議決権行使による開催

当初予定	2020年度 期中に中止が決定した事業	
4月 1日(水) 2日(木)	・(大学入学式・新生入生父母歓迎プログラム) ②9:00 神・社・法・人・国	①13:00 総・理・教 ③13:00 文・経・商
4月18日(土)	・聖和短期大学 教育懇談会	於：西宮聖和キャンパス
4月25日(土)	・父母歓迎「レッツゴー・ツー・ザ・スタジアム」 アメリカンフットボール部	於：神戸市立王子スタジアム
5月 6日(日)	・父母歓迎「レッツゴー・ツー・ザ・スタジアム」 アイスホッケー部	於：尼崎スポーツの森
5月16日(土)	・キャリア・就職講演会	於：中央講堂 (125周年記念講堂)
5月23日(土)	・関西学院大学 静岡県保護者交流会	於：グランディエールブローカイ
5月24日(日)	・父母歓迎「Kwansei Gakuin Welcome Concert」吹奏楽部	於：中央講堂 (125周年記念講堂)
5月31日(日)	・父母歓迎「レッツゴー・ツー・ザ・スタジアム」 サッカー部	於：万博記念競技場
6月27日(土)	・関西学院大学 徳島・淡路島地区保護者交流会	於：阿波観光ホテル
7月25日(土)	・関西学院大学 鹿児島県保護者交流会	於：城山ホテル鹿児島
8月 1日(土)	・関西学院大学 山陰地区保護者交流会	於：サンラボ・むらくも
8月 8日(土)	・関西学院大学 滋賀県保護者交流会	於：クサツエストピアホテル
8月30日(日)	・聖和短期大学 地区別教育懇談会	於：シーサイドホテル着子ビラ神戸
9月 5日(土)	・関西学院大学 教育懇談会	於：神戸三田キャンパス
9月12日(土)	・関西学院大学 熊本県保護者交流会	於：ANAクラウンプラザ ホテル熊本ニュースカイ
9月19日(土)	・関西学院大学 教育懇談会	於：西宮上ヶ原キャンパス
10月10日(土)	・関西学院大学 東北地区保護者交流会	於：仙台国際ホテル
10月17日(土)	・第2回 幹事会	於：宝塚ホテル
11月 7日(土)	・関西学院大学 三重県保護者交流会	於：ホテルグリーンパーク津
11月28日(土)	・関西学院大学 長野県保護者交流会	於：アルビコプラザホテル
12月12日(土)	・関西学院大学 宮崎県保護者交流会	於：ニューウェルシティ宮崎
12月18日(金)	・関西学院クリスマスatザ・シンフォニー ホール(学院・後援会・同窓会共催)	於：ザ・シンフォニーホール
12月19日(土)	・関西学院大学 北関東地区保護者交流会	於：ホテルマイステイズ宇都宮
2021年		
3月 6日(土)	・後援会表彰式 関西学院大学	於：中央講堂 (125周年記念講堂)

## 2021年度 後援会事業計画

2021年		
4月 1日(木)	・「後援会通信」第60号発行	
4月 1日(木)	・大学入学式・新生入生父母歓迎プログラム	※入学式実施規模縮小のため中止 ①9:00 神・文・人・国 ②13:00 総・教・理・工・生・建 ③9:00 社・法 ④13:00 経・商
4月17日(土)	・第1回 常務役員会	於：関西学院会館
秋季開催を予定	・父母歓迎「レッツゴー・ツー・ザ・スタジアム」	於：未定
秋季開催を予定	・父母歓迎「Kwansei Gakuin Welcome Concert」吹奏楽部コンサート	於：未定
6月を予定	・就職・留学ガイド(旧キャリア・就職講演会)	※後援会HPにて動画配信
6月19日(土)	・2021年度代議員会 ・第1回 幹事会 ・第2回 常務役員会	※インターネットを利用した議決権行使による開催 於：関西学院会館
6月12日(土)	・関西学院大学 関東・東北・甲信越地区 教育懇談会	
6月26日(土)	・関西学院大学 徳島・淡路島地区保護者 交流会	※新型コロナウイルス感染症 拡大状況に鑑み中止。 7/31にオンラインにて 代替開催。
7月 3日(土)	・関西学院大学 静岡県保護者交流会	
7月10日(土)	・関西学院大学 東海地区教育懇談会	
7月31日(土)	・関西学院大学 鹿児島県保護者交流会	
8月 7日(土)	・関西学院大学 熊本県保護者交流会	
8月28日(土)	・関西学院大学 宮崎県保護者交流会	
7月17日(土)	・第3回 常務役員会	於：第二吉本ビルディング 貸会議室
9月25日(土)	・関西学院大学 北海道保護者交流会	
10月 2日(土)	・関西学院大学 山陰地区保護者交流会	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止。 別日にオンラインにて 代替開催を予定。
10月23日(土)	・関西学院大学 東北地区保護者交流会	
11月 6日(土)	・関西学院大学 長野県保護者交流会	

11月20日(土)	・関西学院大学 三重県保護者交流会	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止。 別日にオンラインにて 代替開催を予定。
12月 4日(土)	・関西学院大学 北関東地区保護者交流会	
12月18日(土)	・関西学院大学 滋賀県保護者交流会	
秋ごろを予定	・聖和短期大学 教育懇談会	於：西宮聖和キャンパスを予定
9月 4日(土)	・関西学院大学 教育懇談会 (神戸三田キャンパス)	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止。 別日にオンラインにて 代替開催を予定。
9月18日(土)	・関西学院大学 教育懇談会 (西宮上ヶ原キャンパス)	
10月 9日(土)	・関西学院大学 四国地区教育懇談会	
10月 1日(金)	・「後援会通信」第61号発行	
10月16日(土)	・第4回 常務役員会 ・第2回 幹事会 ・臨時 代議員会	於：関西学院会館 ※幹事会は中止、 臨時代議員会は延期
11月19日(金)	・第5回 常務役員会	於：大阪市内
12月21日(火)	・関西学院クリスマスatザ・シンフォニー ホール(学院・後援会・同窓会共催)	※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止。
2022年		
1月21日(金)	・第6回 常務役員会	於：大阪市内
3月12日(土)	・後援会表彰 関西学院大学	於：中央講堂
3月26日(土)	・第7回 常務役員会 ・第3回 幹事会	於：関西学院会館
2、3月(未定)	・後援会表彰 聖和短期大学、関西学院高等部 関西学院中学部、関西学院初等部 関西学院千里国際中等部・高等部	於：未定

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法・日時が変更されることがあります。対象の方には個別にご案内申し上げますが、詳細は後援会ホームページでもお知らせします。ご不明な点がございましたら後援会事務局(関西学院総務部校友課)までお問い合わせください。



# 後援会報告

## 2020年度 関西学院後援会 決算書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)		
収入の部	予算額	決算額
会費収入(人数は決算人数)	149,844,000	150,185,000
関西学院大学 23,283名分 @6,000円	139,446,000	139,698,000
聖和短期大学 274名分 @6,000円	1,626,000	1,641,000
関西学院高等部 1,142名分 @3,000円	3,408,000	3,425,000
関西学院中学部 736名分 @3,000円	2,196,000	2,209,000
関西学院初等部 544名分 @3,000円	1,638,000	1,631,000
関西学院千里国際高等部 283名分 @3,000円	840,000	848,000
関西学院千里国際中等部 239名分 @3,000円	690,000	717,000
前期末未収入金収入	0	16,000
関西学院積立金取崩	0	0
前年度繰越金	18,383,018	18,383,018
合計	168,227,018	168,568,018

(単位:円)		
支出の部	予算額	決算額
事業費	156,200,000	95,646,004
教育懇談会、交流会	26,000,000	245,092
学生・生徒の活動・行事援助	16,900,000	20,248,304
援助(課外活動)	9,000,000	706,000
援助(各部学祭・文化祭)	5,500,000	4,500,000
援助(その他)	2,400,000	15,042,304
国際交流振興援助費	2,500,000	0
教育研究活動援助	2,000,000	98,780
就職活動援助	3,000,000	2,802,173
海外受入派遣活動援助(大学)	7,000,000	1,350,185
後援会表彰	9,000,000	3,867,464
広報活動援助費	4,000,000	0
奨学援助	21,300,000	13,610,000
学災保援助費	6,000,000	5,800,000
卒業記念品作製料	9,000,000	9,312,930
入学記念品作製料	14,000,000	11,399,160
新入会員歓迎企画	3,000,000	80,300
クリスマス援助費	3,000,000	0
代議員会	2,000,000	1,960,348
郵送費(成績・通信等)	2,000,000	2,000,000
後援会通信	23,000,000	19,912,708
校歌CD制作費	0	0
後援会HP運営費	2,500,000	2,958,560
幹事会・常務役員会	3,500,000	353,305
積立金	5,000,000	5,000,000
事務費	1,000,000	870,049
予備費	2,527,018	100,000
合計	168,227,018	101,969,358

2020年度 関西学院後援会財産目録 (2021年3月31日現在)	
(単位:円)	
経常会計 次年度繰越金	66,598,660円
特別会計(積立金)繰越金(関西学院財務部預り金)	15,004,895円
(内訳)積立金	15,004,747円
預金利息	148円

特別会計 決算書 (2020.4.1～2021.3.31)			
(単位:円)			
収入	金額	支出	金額
運用収入	5,000,000	支出	0
期首残高	15,004,895	期末残高	20,004,895
合計	20,004,895	合計	20,004,895

## 2021年度 関西学院後援会予算

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:円)		
収入の部	21年度予算額	20年度決算額
会費収入	148,305,000	150,185,000
関西学院大学 22,980名分 @6,000円	137,880,000	139,698,000
聖和短期大学 260名分 @6,000円	1,560,000	1,641,000
関西学院高等部 1,159名分 @3,000円	3,477,000	3,425,000
関西学院中学部 739名分 @3,000円	2,217,000	2,209,000
関西学院初等部 543名分 @3,000円	1,629,000	1,631,000
千里国際高等部 279名分 @3,000円	837,000	848,000
千里国際中等部 235名分 @3,000円	705,000	717,000
前期末未収入金収入	0	16,000
積立金取り崩し	0	0
前年度繰越金	66,598,660	18,383,018
合計	214,903,660	168,568,018

(単位:円)		
支出の部	21年度予算額	20年度決算額
事業費	206,700,000	95,646,004
教育懇談会、交流会	26,000,000	245,092
学生・生徒の活動・行事援助	31,900,000	20,248,304
援助(課外活動)	9,000,000	3,133,333
援助(各部学祭・文化祭)	5,500,000	4,500,000
援助(その他)	17,400,000	12,614,971
国際交流振興援助費	2,500,000	0
教育研究活動援助	3,200,000	98,780
就職活動援助	4,200,000	2,802,173
海外受入派遣活動援助(大学)	7,000,000	1,350,185
後援会表彰	9,000,000	3,867,464
広報活動援助費	4,000,000	0
奨学援助	42,300,000	13,610,000
学災保援助費	6,100,000	5,800,000
卒業記念品作製料	9,000,000	9,312,930
入学記念品作製料	14,000,000	11,399,160
新入会員歓迎企画	3,000,000	80,300
クリスマス援助費	3,000,000	0
代議員会	9,000,000	1,960,348
郵送費(成績)	2,000,000	2,000,000
後援会通信	22,000,000	19,912,708
校歌CD制作費	0	0
後援会HP運営費	8,500,000	2,958,560
幹事会・常務役員会	3,000,000	353,305
積立金	0	5,000,000
事務費	1,000,000	870,049
予備費	4,203,660	100,000
次年度繰越金	0	66,598,660
合計	214,903,660	168,568,018

2021年度予算会費収入は、2021年4月8日現在の学生・生徒・児童数×2020年度予算時と2020年度決算時の学生員数の差異等から算出

## 2021年度 関西学院後援会 常務役員、幹事および代議員一覧

常務役員	幹事	中根 慶太	[法学部]	石田 裕子	辻 慎一郎	藪 惠一	印藤 雅典	[建築学部]	杉原 由高	代議員	大東 洋三	[社会学部]
[会長]	[神学部]	栗嶋 裕充	川村 拓司	松賢児	小川原 秀哉	須藤 桂太郎	立岩 菜摘	桑原 浩司	和山 朋弥	[文学部]	貝田 睦仁	平田 育久
[副会長]		戸田 奈都子	辻尾 一仁	井田 裕久	依田 英之	渡辺 幸嗣	青野 英彦	[聖和短期大学]	辰巳 真一	中村 浩一郎	善井 啓一	石原 慶文
[会計]		吉田 哲郎	満田 千彰	岸本 祥	澤田 朗	原田 達二	青野 正幸	中山 貴子	高村 祐輝	小川 大輔	植田 昌宏	水澤 修
[会計監査]		重久 庄児	打種 幸	沼田 紳次	伊藤 友啓	中岡 栄三郎	大西 啓雅	信川 貴洋	西村 総一郎	本郷 亮	馬場 基史	水田 圭一郎
		加地 正和	平松 洋一	高安 慎一	河野 雄一	西戸 栄治	岡部 芳幸	[高等部]	伊藤 博之	伊藤 博之	柏木 利博	木田 卓
		石塚 英輔	久保田 武之	赤坂 好宣	大仁田 拓朗	吉田 元一	[国際学部]	羅 賢一	濱中 聡子	今井 雄一	藤田 紀子	巽 隆太
		[庶務]	土井 秀夫	柴原 裕明	甲斐 裕章	山内 知佳	森本 俊寿	笹倉 慎太郎	加藤 晴子	福田 明子	中川 善行	三浦 忠則
			後昌樹	小池 章裕	大西 敏晴	佐伯 元彦	梅岡 吾郎	辰馬 紳介	山口 明宏	福田 明子	中川 善行	三浦 忠則
			後藤 圭吾	岡村 視巧	齊藤 誠啓	川本 武	芝本 幸恵	渡部 総一郎	永井 康晴	野村 文則	中村 雄大	石原 明彦
			狩野 義仁	平田 真理	向 功	長沼 秀一	小野 基次	小野 基次	前田 重人	山本 晴津子	久保田 勝大	狩野 良子
			田中 深佳子	福田 陽介	牛島 和幸	前中 勝彦	村上 式子	上田 達志	浦川 給美	山本 雅彦	酒井 米三	辻村 光宗
			金丸 康治	西英明	上田 晃裕	千頭 護	長島 寛	井田 雅章	岸本 功	木山 博貴	山本 尚司	廣田 雄一
			藤沢 利恵	白野 秀継	衣笠 由修	竹安 正	難波 梯次郎	岩岡 俊哉	桶口 幸弘	[経済学部]	桑田 大介	熊谷 久
			柴田 剛	三浦 義民	小村 太一	遠山 博昭	尾畑 正治	入江 徹	中西 良明	安藤 勝康	岡本 倫子	伊藤 泰弘
			豊田 正明	富岡 修	遠山 博昭	桶口 幸弘	[総合政策学部]	[教育学部]	猪井 淑雄	福本 雅仁	飯島 健司	[初等部]
			江田 政亮	神前 秀樹	桶口 幸弘	[経済学部]	藤原 二郎	光岡 康智	三木 保安	岡本 倫子	大口 芳弘	
			玉田 明人	神前 秀樹	桶口 幸弘	[経済学部]	藤原 二郎	光岡 康智	三木 保安	岡本 倫子	大口 芳弘	
			青山 まゆみ	越野 大二郎	五十嵐 光博	中西 良明	安藤 勝康	岡本 倫子	大口 芳弘			

中植 昌則	林 伸行	村松 勝	岡 大	水口 栄二	佐古田 正英	山口 嘉隆	山岸 以知子	池田 光隆	岩松 紀幸	穴田 千恵子	郡 弥生	松浦 光彦
林 正裕	小林 太郎	大西 将弘	速水 孝治	中川 浩	已斐 真理	入江 孝裕	鈴木 太	有村 秀章	實生 宗俊	金原 長幸	岩坂 二規	藤本 考秀
大久保 章	加藤 尚平	藤井 秀明	金野 浩一	山田 文彦	[理工学部]	谷内 洋之	長浦 剛典	網谷 英志	小野田 秀樹	梶本 滋久	田代 麻由美	瀬谷 誠一郎
川岸 悟	福井 健司	伊藤 順一	別野 真澄	阿田 朋之	[経済学部]	八田 学	田村 恵子	天野 真志	大谷 克也	梁川 英博	[高等部]	有田 泰久
保坂 和拓	伊藤 順一	中後 善文	和田 学	中野 寛治	田中 実	真田 美樹	吉原 史朗	雷田 裕美	吉田 裕樹	廣野 稔	若井 琢磨	矢内 直樹
川端 康文	武市 重紀	坂本 佳也	新田 直仁	岸上 泰三	望月 伸治	岸上 泰三	志水 隆博	堀内 正行	改發 賢司	長村 泰幸	堀内 正行	児玉 友宏
藤田 澄	天野 浩之	井上 明	簡井 力也	中川 善行	志水 隆博	中村 信仁	海本 律子	池田 浩之	平見 徹	倉本 達	古河 大典	堀谷 修平
濱田 剛	川浦 良介	加藤 博也	岡部 まゆみ	中川 善行	中村 信仁	村岡 敏敏	村中 宏行	池田 浩之	三浦 忠則	坂本 佳也	堀内 正行	江口 公浩
佐藤 栄	村瀬 謙一	新村 直仁	西口 敬一	坂田 隼	進藤 謙太郎	久保 佳嗣	式田 友久	池田 浩之	水谷 孝広	水谷 孝広	岡田 和士	福葉 豊
中西 康之	吉見 光太郎	坂本 輝	藤原 隆至	藤原 隆至	藤原 隆至	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健
本橋 真人	坂本 輝	松崎 泰	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健
菰川 太志	山本 美貴	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健
[法学部]	高島 徹	初田 洋介	池崎 恒樹	瀧川 祥也	近藤 義明	森重 彰	古賀 麻依子	戸村 涉	上原 健二郎	松井 速人	朝比奈 操	高橋 成植
辻井 健太	西本 夏也	後藤 博	古賀 麻依子	戸村 涉	上原 健二郎	松井 速人	朝比奈 操	高橋 成植	高橋 成植	高橋 成植	高橋 成植	高橋 成植
上田 健	西本 夏也	後藤 博	古賀 麻依子	戸村 涉	上原 健二郎	松井 速人	朝比奈 操	高橋 成植	高橋 成植	高橋 成植	高橋 成植	高橋 成植
前坂 靖	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤
福井 靖	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤
児玉 一宏	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人
村岡 隆正	山本 美樹	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健	高見 健
廣地 修	堀越 利清	平川 剛士	河原 朗生	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤
中林 明日香	熱田 理恵	森井 敏英	竹中 美子	高木 伯之								
高木 啓	坂野 浩一	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介
西家 伸郎	並 司	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介	栗田 真	水 上 篤	松本 昌人	中村 和夫	谷河 伸介



# 関西学院後援会サイト リニューアルのお知らせ

この度、関西学院後援会サイトが生まれ変わりました。デザインや操作性をアップデートし、さらに見やすくわかりやすいサイトになっていますので、ぜひアクセスしてみてください。



今すぐ  
アクセス!

## POINT 1 後援会会員向けの情報をリアルタイムで発信!

後援会会員向けの最新情報を閲覧いただけます。後援会活動に関するイベント情報をお知らせする「EVENT」、保護者交流会をはじめとする様々な活動報告をお届けする「REPORT」、各種お知らせを配信する「NEWS」と、3つのカテゴリで情報を発信。お届けする内容もどんどんパワーアップしていきますので、ぜひご活用ください。



TOPページから  
最新情報へアクセス!

## POINT 2 新機能「タグ検索」で必要な情報をGET

気になるキーワードから、関連するコンテンツを探すことができる「タグ検索」が可能に。知りたい情報をまとめてチェックすることができて、とても便利になりました!



## POINT 3 後援会会員向けコンテンツが充実!

親子で学院生活について考える情報コンテンツや、卒業生や在学生の活躍を取り上げた取材コンテンツといった、後援会会員向けのコンテンツが充実。ボリュームたっぷりの内容を、スマホやパソコンから気軽に閲覧いただけます。掲載コンテンツは随時更新されるので、ぜひ定期的にチェックしてみてください。

また、「各種申し込み・アンケート」ページでは、後援会活動への参加に関するお申込み等を随時受け付けています。後援会通信の読者アンケートについても、こちらのページから応募が可能です。詳しくはP.47をご参照ください。



## TOPICS 関西学院後援会卒業生家族の会 創立

### 特典

- 「後援会通信」の送付  
→関西学院での学びや取組み、OB・OGや現役の学生・生徒・児童やそのご家族のインタビューなどを掲載しています。
- 「KG JOURNAL」等の学院広報誌を送付  
→関西学院の研究や学び、留学などの国際交流、就職や課外活動など関西学院大学のキャンパスライフをご紹介します。
- 「Let's go to the stadium」等、スポーツ応援に関するお知らせ
- 保護者交流会開催のご案内

「卒業後も関西学院とつながり続けたい」という後援会会員のみなさまからのご要望にお応えして、この度、会員継続制度として「関西学院後援会卒業生家族の会」を創立しました。

### 年会費

3,000円  
※個別ご案内申し上げますが、ご卒業が2022年度に延期となった場合は、年会費を返金させていただきます。

### お申し込み方法

2022年度会員の申し込みは10月～3月18日までに右記QRコードからお申込みください。順次年会費振込用紙を発送します。  
※会員資格は年度ごとに更新が必要となります。

お申込みは  
こちらから!







プレゼントのご案内

## 関西学院ならではの豪華なアイテムをプレゼント!

関西学院後援会通信61号では、すてきなプレゼントをご用意しました。  
関西学院後援会WEBまたは、下記QRコードよりご応募いただいた方の中から  
抽選でプレゼントいたします。皆さま、奮ってご応募ください。

応募締切 ▶▶▶ 2021年11月12日(金) 受付分迄

※当選の発表は、各プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

1  
宇良関  
直筆サイン



3名様

2  
シューホーン



6名様

革小物として携帯に便利なフック付きの靴べらです。  
※ブラウン・ブルーの2色からお選びください。各色3点のご用意となります。

3  
アビステ  
ミニサイズペン



8名様

アクセントにストーンがあしらわれたお洒落なミニサイズペンです。  
※お色はブラック・ブルー・ピンク・ホワイトの4色からお選びください。各色2点のご用意となります。

4  
シチズン電波時計



4名様

スタンドタイプの電波時計。アラームやバイブレーション機能も付いている便利な時計です。

5  
トランスカード  
ミラー



6名様

お洒落な革小物としてスペースを取らないカード型のミラーです。  
※グレー・ブルーの2色からお選びください。各色3点のご用意となります。

6  
加湿器  
ボトルキャップ



5名様

これからの乾燥する時期に大活躍間違いなし。  
関西学院のロゴ入りで、ボトルに装着するタイプの加湿器です。

7  
陶器マグカップ



5名様

関西学院のロゴが入ったおしゃれな陶器製マグカップ。電子レンジでの使用もOKです!

8  
関西学院ふきん



5名様

蚊帳生地を縫い合わせたふきんです。使い込むほどに柔らかくなり吸水性に大変優れています。

9  
オリジナル  
ペーパーウェイト



10名様

クリスタル製のペーパーウェイト。内部には関西学院のシンボル・時計台がレーザー彫刻されています!

## プレゼントのご応募について

プレゼントのご応募は、  
関西学院後援会WEB「各種申し込み・アンケート」からお願いします。



こちらからご応募ください。

関西学院後援会 各種申し込み



## Campus Wedding

関学で結婚式

キャンパスウエディング

関西学院ではキリスト教主義に基づく生涯教育の一環として、結婚式を執り行っております。歴史を紡ぐキャンパスの礼拝堂での感動の結婚式。卒業生の方々とご家族さまが母校といつまでもつながりを持ち続けてくださることを望んでおります。また、関西学院関係者さまならではの婚禮ご紹介制度もご準備しております。ご紹介者さまはもちろん、挙式者さまにも特典をご用意しております。ご結婚をお考えのお知り合いの方々をぜひご紹介くださいませ。  
ご満足いただける結婚式をプロデュースいたします。



## Lunch & Dinner

関学でお食事



平日ランチメニュー例  
日替わりランチ 930円  
日替わりお弁当 1,100円  
カジュアルランチ 1,100円

※表記の料金は2021年6月1日現在の料金です。  
※表記の料金にはいずれも消費税10%が含まれます。

Restaurant POPLAR レストランポプラ

営業時間 11:00~19:00 年中無休(年末年始・夏季特別期間除く)  
ランチタイム 11:00~14:00/ティータイム 14:00~17:00/  
ディナータイム 17:00~19:00 (L.O.18:30)  
※2021年6月1日現在、ディナータイムの営業時間を短縮しております。

【ご予約・お問い合わせ】 Tel:0798-54-1188(直通)

「後援会通信を見て」前日までに  
ご予約のお客様に限り  
**10%OFF**  
※1グループ4名様まで優待  
※有効期限 2021年12月25日(土)まで

## Graduation Ceremony

卒業式はかまレンタル試着・ご予約会

関西学院会館  
ブライダルスタッフが  
フルサポート!



受付中

衣裳提供から、当日の美容・着付、記念写真まで  
含めた「卒業式レンタル衣裳サービス」です。

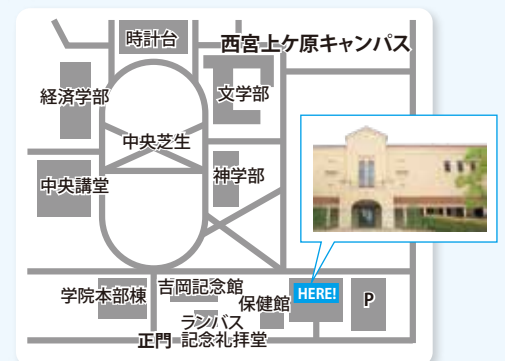
受注会

場所:関西学院会館1階「翼の間」

時間:10:30~17:00

日程:10月15日(金)/11月5日(金)/11月29日(月)/12月13日(月)

※状況によりましては、日程が変更になる可能性があります。



改修工事に伴う休館のお知らせ

【休館期間】 ~2021年10月5日(火)まで

(ご予約・お問い合わせ) 関西学院会館 予約センター TEL:0798-54-6013(直通)

開室時間9:00~17:00  
※定休日無(年末年始・夏季特別期間除く)

関西学院会館

検索



# 関西学院後援会

関西学院後援会通信[61] 2021年秋号

事務局 | 関西学院 総務部 校友課

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL.0798-54-6010 FAX.0798-51-0929